

大学番号 私立271

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部の設置
注1

認可

広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人広島文化学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部総務課

職名・氏名 カチヨウ ニワ タカシ
課長 丹羽 寛志

電話番号 082-884-1001

(夜間) 082-884-1001

e-mail s-soumu@hbg.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 口口学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- ・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
 - ・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
 - ・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 口口学科」
 - ・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
 - ・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
 - ・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - ・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 口口学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間健康学部

＜スポーツ健康福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44
8. 添付書類	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 広島文化学園

(2) 大 学 名

広島文化学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒737-0182

広島県呉市郷原学びの丘一丁目1番1号（呉 郷原キャンパス）

〒731-4312

広島県安芸郡坂町平成ヶ浜三丁目3番20号（広島 坂キャンパス）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(モリモト コウシ) 森 元 弘 志 (平成24年1月)		
学 長	(タナカ コウジ) 田 中 宏 二 (平成28年4月)	(サカコシ マサキ) 坂 越 正 樹 (令和2年4月)	任期満了に伴う選出（令和2年4月1日）(2)
副 学 長	(サカコシ マサキ) 坂 越 正 樹 (令和元年4月)	(マツモト ケンジ) 松 元 健 治 (令和2年4月)	前任者の辞任に伴う任命（令和2年4月1日）(2)
学 部 長	(ヤマサキ マサヒロ) 山 崎 昌 廣 (平成30年4月)		
学科長等	(ヒガシカワ カスオ) 東 川 安 雄 (平成30年4月)	(クドウ リュウジ) 工 藤 隆 治 (令和元年4月)	人事異動のため学科長を変更した。（平成31年4月1日）(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) • 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間健康学部	体育関係	年	人	年次	人		
スポーツ健康福祉学科	社会学・社会福祉学関係	4	120	2年次	5	515	
学士（健康学）				3年次	10		

- (注) • 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人			
	—	—	120	—	120	—	120	—	120	—	120			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
志願者数	—	—	160	—	162	—	189	—	177	—	—			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(—)			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
受験者数	—	—	159	—	159	—	185	—	175	—	—			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(—)			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
合格者数	—	—	157	—	156	—	169	—	153	—	—			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(—)			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
B 入学者数	—	—	128	—	133	—	151	—	129	—	—			
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(—)			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]			
入学定員超過率B/A	—	—	1.06	—	1.10	—	1.25	—	1.07	—	—			

- (注) • 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 転入学生は記入しないでください。
- []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	—	—	128	—	133	—	151	—	129	—			
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
2年次			—	—	128	—	128	—	146	—			
			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
			(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
3年次					—	—	125	—	120	—			
					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
					(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
4年次							—	—	123	—			
							[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	
							(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
計	—		128		261		404		518				
	[—]		[—]		[—]		[—]		[—]				
	(—)		(—)		(—)		(—)		(—)				

・令和3年5月1日 公表

- (注) • 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成28年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	128 人	4 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学(2人)【他大学1人・専門学校1人】、就職(1人)
令和元年度	261 人	8 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	3 人	0 人	就職(2人)、除籍(1人)
			令和元年度	5 人	0 人	就職(3人)、他の教育機関への入学・転学(2人)
令和2年度	404 人	16 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	2 人	0 人	就職(1人)、除籍(1人)
			令和元年度	9 人	0 人	就職(7人)、他の教育機関への入学(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和2年度	5 人	0 人	就職(2人)、他の教育機関への入学(2人) 除籍(1人)
令和3年度	518 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		28 人		28 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{128} = \boxed{3.12} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{261} = \boxed{3.06} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{16}{404} = \boxed{3.96} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{518} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間健康学部 スポーツ健康福祉学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	教養ナレッジ	人間健康学基礎演習	1前	2		2	2	3			
		フレッシュマンセミナー（文化に生きる）	1前	1		1					
	外国語科目	広島のスペシャリスト	2前	2		1					
		英語 I	1前	1							4
		英語 II	1後	1							4
		応用英語	2前		1						2
		中国語	2前		1						1
	デザイナリック科目	韓国語	2前		1						1
		キャリアデザイン	1前	2							1
		キャリアディベロップメントA（教職）	3後		2	1					
		キャリアディベロップメントB（健康）	3後		2		1				
		キャリアディベロップメントC（福祉）	3後		2	1					
教養基礎科目	人間と環境	キャリアディベロップメントD（ビジネス実践）	3後		2						1
		インターンシップ	3前	2		3	3	4			
		人体の構造と機能及び疾病	1前		2						3
		防災の科学	1後		2						1
	人間と社会	地域福祉	2前		2						1
		健康スポーツ科学	1後		2						1
		日本国憲法	1前		2	1					1
		社会学	1後		2						
	人間と文化	ソーシャルワーク概論	1前		2	1		1			1
		情報処理	1後		2						1
		心理学	1前		2		1				
		音楽療法概論	2前		2						1
	小計(26科目)	社会福祉	2前		2	1					1
		地域スポーツ論	2前		2	1					
専門教育科目	専門共通科目	スポーツ健康福祉入門	1前	2		3					
	専門コア科目	人間と健康	1前	2		1					
		スポーツ心理学	1前	2		1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	教養ナレッジ	人間健康学基礎演習	1前	2			2	3	2		
		フレッシュマンセミナー（文化に生きる）	1前	1			1				
	外国語科目	広島のスペシャリスト	2前	2			1				
		英語 I	1前	1							4
		英語 II	1後	1							5
		応用英語	2前		1						2
		中国語	2前		1						1
	デザイナリック科目	韓国語	2前		1						1
		キャリアデザイン	1前	2							1
		キャリアディベロップメントA（教職）	3後		2	1				1	
		キャリアディベロップメントB（健康）	3後		2		2				
		キャリアディベロップメントC（福祉）	3後		2	1					
教養基礎科目	人間と環境	キャリアディベロップメントD（ビジネス実践）	3後		2						1
		インターンシップ	3前	2		3	3	4			1
		医学概論	1前		2						2
		防災の科学	1後		2						1
	人間と社会	地域福祉	2前		2						1
		健康スポーツ科学	1後		2						1
		日本国憲法	1前		2		1				
		社会学	1後		2						1
	人間と文化	ソーシャルワーク概論	1前		2	1		1			2
		情報処理	1後		2						
		心理学	1前		2		1				
		音楽療法概論	2前		2						1
	小計(26科目)	社会福祉	2前		2	1					1
		地域スポーツ論	2前		2	1					
専門教育科目	専門共通科目	スポーツ健康福祉入門	1前	2			3				
	専門コア科目	人間と健康	1前	2			1				
		スポーツ心理学	1前	2			1				

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門科目	専門科目コア	精神保健 I	1前	2			1				
		スポーツ健康福祉論	3後	2		3					
	アダプティッド・ダーフィング・テクニック	アダプティッド・スポーツ科学	3前	2		2	1				
		アダプティッド・スポーツ科学演習	3前	2			1			2	
	アダプティッド・スポーツ	インクルーシブ・スポーツ論	3後	2		1	1				
		アダプティッド・スポーツ実習	3後	1			1			2	
	専門共通科目	スポーツ健康福祉論	1後	2		2	2	3			
		人間健康学基礎研究 I	2前	2		2	3	3			
	発展科目	人間健康学基礎研究 II	2後	2		2	3	3			
		人間健康学研究 I	3前	2		5	3	4			
専門教育科目	人間健康学研究 II	3後	2			5	3	4			
	卒業研究 I	4前	3			5	3	4			
		卒業研究 II	4後	3		5	3	4			
	小計(16科目)	—	33	0	0	6	4	4	0	0	2
	スポーツ社会学 I	2前	2			1					
	スポーツ社会学 II	2後		2		1					
	スポーツ史	2後		2						1	
	スポーツ経営学	2後		2		1					
	スポーツ身体論	1後		2		1					
	スポーツ政策	3前		2		1					
専門コース科目	スポーツ法学	3後		2		1					
	スポーツ運動学 I	2前	2			1					
	スポーツ運動学 II	2後		2		1					
	メンタル・トレーニング	2後		2		1					
	コーチング学 I	2前		2			1				
	コーチング学 II	2後		2			1				
	バイオメカニクス I	2前	2				1				
	バイオメカニクス II	2後		2			1				
	スポーツ生理学 I	1後	2					1			
	スポーツ生理学 II	2後		2				1			
専門コース科目	スポーツ栄養学	1後	2					1			
	スポーツ栄養学演習	2後		2				1			
	保健体育科教育法 I	1後		2		1	1				
	保健体育科教育法 II	2前		2		1	1				
	保健体育科教育法 III	2後		2		1	1				
	保健体育科教育法 IV	3前		2		1	1				
	健康医学	2前		2						1	
	スポーツ医学	2後		2						1	

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
スポーツ健康コース専門科目	衛生学及び公衆衛生学	1前	2							1	
	学校保健	1後	2							2	
	救急処置	2後	1							2	
	トレーニング処方	3前	2							1	
	スポーツ指導実技AⅠ(陸上競技)	2前	1		1					1	
	スポーツ指導実技AⅡ(器械体操)	2後	1							1	
	スポーツ指導実技AⅢ(水泳)	2前	1			1				1	
	スポーツ指導実技AⅣ(体づくり運動/トレーニング)	3前	1			1				1	
	スポーツ指導実技BⅠ(球技:ゴルフ型)	1前	1			1				1	
	スポーツ指導実技BⅡ(球技:ゴルフ型)	1後	1			1				1	
	スポーツ指導実技BⅢ(球技:ネット型)	1後	1			1				1	
	スポーツ指導実技BⅣ(球技:ベースボール型)	1前	1				1			1	
	スポーツ指導実技CⅠ(舞踊・ダンス)	2後	1			1				1	
	スポーツ指導実技CⅡ(柔道)	3前	1					1		1	
	スポーツ指導実技CⅢ(剣道)	3前	1					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習I(ヨガ)	3前	2					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習II(スポーツトレーナー)	3前	2					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習III(スポーツインストラクター)	3後	2					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習IV(スタジオプログラム)	3後	2					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習V(介護予防)	3後	2					1		1	
	フィジカルエクササイズ演習VI(舞踊・ダンス)	3前	2			1				1	
専門教育科目	健康運動現場実習	3前	1			1	2				
	野外活動実習AⅠ	2前	1		1						
	野外活動実習AⅡ	3前	1		1						
	野外活動実習BⅠ	2後	1		1						
	野外活動実習BⅡ	3後	1		1						
	小計(50科目)	-	10	73	0	4	3	2	0	0	15
	社会福祉政策	2後	2		1					1	
	コミュニケーション・ソーシャルワーク	2後	2								
健康福祉コース専門科目	福祉行政財政と福祉計画	2前	2			1					
	社会保障論I	2前	2			1					
	社会保障論II	2後	2		1						
	公的扶助論	1後	2			1					
	保健医療サービス論	2後	2			1					
	地域包括ケア論	3前	2			2				1	
	医療ソーシャルワーク演習I	3後	1		1						
	医療ソーシャルワーク演習II	4前	1		1						
	権利擁護と成年後見	1後	2		1						
	小計(50科目)	-	10	73	0	3	3	4	0	0	12
健康福祉コース専門科目	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2後			2			1			
	コミュニケーション・ソーシャルワーク	2後			2						1
	福祉行政財政と福祉計画	2前			2			1			
	社会保障論I	2前		2				1			
	社会保障論II	2後			2			1			
	公的扶助論	1後		2				1			
	保健医療サービス論	2後			2			1			
	地域包括ケア論	3前		2				2			
	医療ソーシャルワーク演習I	3後			1			1			
	医療ソーシャルワーク演習II	4前			1			1			
	権利擁護と成年後見	1後			2			1			

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	社会調査概論	3前	2		1						
	相談援助の基礎と専門職	1後	2		2						
	ソーシャルワーク I	2前	2		1						1
	ソーシャルワーク II	2後	2								
	ソーシャルワーク III	3前	2			1					
	ソーシャルワーク IV	3後	2		1						
	社会福祉経営論	3後	2								1
	障害児・者福祉	1後	2			1					
	高齢者福祉論 I	2前	2								1
	高齢者福祉論 II	2後	2								4
	児童・家庭福祉論	2後	2		1						
	就労支援	3前	1								4
	更生保護	3前	1								1
	精神医学 I	2前	2								1
	精神医学 II	2後	2								1
	精神保健 II	1後	2		1						
	精神保健福祉相談援助の基礎(専門)	2後	2		1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	3前	2		1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	3後	2		1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III	4前	2								1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 IV	4後	2								4
	精神保健福祉に関する制度とサービス I	3前	2		1						
	精神保健福祉に関する制度とサービス II	3後	2		1						
	精神障害者の生活支援システム	3後	2								1
	ソーシャルワーク演習	2後	1		1	1					
	相談援助演習 I	3前	1		1	1					
	相談援助演習 II	3前	1		1	1					
	相談援助演習 III	3後	1		1	1					
	相談援助演習 IV	3後	1		1	1					
	相談援助実習指導 I	2後	1		1	1					
	相談援助実習指導 II	3前	1		1	1					
	相談援助実習指導 III	3後	1		1	1					
	相談援助実習	3後	4		2	1					1
	精神保健福祉演習 I	4前	1		1						1
	精神保健福祉演習 II	4前	1		1						1
	精神保健福祉実習指導 I	3後	1		1						1
	精神保健福祉実習指導 II	4前	1		1						1
	精神保健福祉実習指導 III	4後	1		1						1
	精神保健福祉実習	4後	5		2						1
専門教育科目	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1後									
	ソーシャルワーク I	2前									1
	ソーシャルワーク II	2後									1
	ソーシャルワーク III	3前								1	
	ソーシャルワーク IV	3後									
	社会福祉経営論	3後									1
	障害児・者福祉	1後			2					1	
	高齢者福祉論	2前			2						1
	高齢者福祉論 II	2後			2						4
	児童・家庭福祉論	2後			2					1	
	就労実操	3前			4						1
	刑事司法と福祉	3前			2						1
	精神医学 I	2前			2						1
	精神医学 II	2後			2						1
	精神保健 II	1後			2					1	
	精神保健福祉の原理 I	2前			2						
	精神保健福祉の原理 II	2後			2					1	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	3前			2						
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	3後			2						1
	精神障害リハビリテーション論	4前			2						1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開理論	4後			2						4
	精神保健福祉に関する制度とサービス I	3前			2					1	
	精神保健福祉に関する制度とサービス II	3後			2					1	
	精神障害者の生活支援システム	3後			2						1
	ソーシャルワーク演習	2後			1	1	1				
	相談援助演習 I	3前			1	1	1			1	
	相談援助演習 II	3前			1	1	1			1	
	相談援助演習 III	3後			1	1	1			1	
	相談援助演習 IV	3後			1	1	1			1	
	相談援助実習指導 I	2後			1	1	1			1	
	相談援助実習指導 II	3前			1	1	1			1	
	相談援助実習指導 III	3後			1	1	1			1	
	相談援助実習	3後			4	2	1				1
	精神保健福祉演習 I	4前			1	1					1
	精神保健福祉演習 II	4前			1	1					1
	精神保健福祉演習 III	4後			1	1					1
	精神保健福祉実習指導 I	3後			1	1					1
	精神保健福祉実習指導 II	4前			1	1					1
	精神保健福祉実習指導 III	4後			1	1					1
	精神保健福祉実習	4後			5						1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目	栄養と生活習慣病 I	2前	2				1			
	栄養と生活習慣病 II	2後	2				1			
	高齢者・障害者身体活動論 I	3前	2		1					
	高齢者・障害者身体活動論 II	3後	2		1		1			
	重度障害者身体活動論 I	3前	2				1			
	重度障害者身体活動論 II	3後	2				1			
	レクリエーション実習 I	3前	1						1	
	レクリエーション実習 II	3後	1						1	
	小計 (58科目)	-	10	92	0	5	1	3	0	9
教員養成科目	教職概論	1後		2	1					
	教育原理	1前		2	1					
	教育心理学	1前		2					1	
	教育社会学	1前		2					1	
	教育課程論	2後		2					1	
	教育方法論	2後		2					1	
	特別活動論	2前		2					2	
	道徳教育論	2前		2	1					
	生徒指導論	2後		2	1				1	
	教育相談	2後		2					3	
	教育実習指導	3前		1	1	1				
	教育実習	3後		4	1	1				
	教職実践演習 (中・高)	4後		2	1	1				1
	小計 (13科目)	-	0	0	27	2	1	0	0	10
合計(163科目)										
- 64 200 27 10 4 4 0 0 50										
卒業要件及び履修方法										
必修科目54単位 選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目的3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。										
履修科目の登録の上限:23単位(1学期) コース選択は、2年次に行う。										

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目	栄養と生活習慣病 I	2前	2				1			
	栄養と生活習慣病 II	2後	2				1			
	高齢者・障害者身体活動論 I	3前	2		1					
	高齢者・障害者身体活動論 II	3後	2		1					
	重度障害者身体活動論 I	3前	2				1			
	重度障害者身体活動論 II	3後	2				1			
	レクリエーション実習 I	3前	1							
	レクリエーション実習 II	3後	1							
	小計 (54科目)	-	10	86	0	5	3	1	0	0
教員養成科目	教職概論	1後		2	1					
	教育原理	1前		2	1					
	教育心理学	1前		2					1	
	教育社会学	1前		2				1		
	教育課程論	2後		2				1		
	教育方法論	2後		2				1		
	特別活動論	2前		2				2		
	道徳教育論	2前		2	1					
	生徒指導論	2後		2	1					
	教育相談	2後		2				1		
	教育実習指導	3前		1	1	1				
	教育実習	3後		4	1	1				
	教職実践演習 (中・高)	4後		2	1	1				1
	小計 (15科目)	-	0	0	30	1	1	1	0	16
合計(161科目)										
- 64 194 30 9 6 4 0 0 53										
卒業要件及び履修方法										
必修科目54単位 選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目の3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。										
履修科目の登録の上限:23単位(1学期) コース選択は、2年次に行う。										

必修科目54単位 選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目の3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。
履修科目の登録の上限:23単位(1学期) コース選択は、2年次に行う。

【平成30年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	教養セミナー	人間健康学基礎演習	1前	2		2	2	3			
		フレッシュマンセミナー（文化に生きる）	1前	1		1					
	総合科目	広島のスペシャリスト	2前	2		1					
		英語 I	1前	1						4	
	外国語科目	英語 II	1後	1						4	
		応用英語	2前		1					2	
	デザイナリーキャリア	中国語	2前		1					1	
		韓国語	2前		1					1	
	人間と環境	キャリアデザイン	1前	2						1	
		キャリアディベロップメントA（教職）	3後		2	1					
		キャリアディベロップメントB（健康）	3後		2		1				
		キャリアディベロップメントC（福祉）	3後		2	1					
		キャリアディベロップメントD（ビジネス実践）	3後		2	3	3	4			
		インターンシップ	3前	2						1	
教養基礎科目	人間と社会	人体の構造と機能及び疾病	1前		2					3	
		防災の科学	1後		2					1	
		地域福祉	2前		2					1	
		健康スポーツ科学	1後		2					1	
	人間と文化	日本国憲法	1前		2	1				1	
		社会学	1後		2	1	1				
		ソーシャルワーカー概論	1前		2						
		情報処理	1後		2					1	
	人間と文化	心理学	1前		2		1				
		音楽療法概論	2前		2	1					
		社会福祉	2前		2						
	小計(26科目)		—	11	35	0	7	4	4	0	17
専門教育科目	専門共通科目	スポーツ健康福祉入門	1前	2		3					
	専門コア科目	人間と健康	1前	2		1					
	専門教育科目	スポーツ心理学	1前	2		1					

【令和元年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	教養セミナー	人間健康学基礎演習	1前	2		2	2	3			
		フレッシュマンセミナー（文化に生きる）	1前	1				1			
	総合科目	広島のスペシャリスト	2前	2				1			
		英語 I	1前	1							4
	外国语科目	英語 II	1後	1							5
		応用英語	2前		1			1			2
	教養共通科目	中国語	2前		1						1
		韓国語	2前		1						1
	人間と環境	キャリアデザイン	1前	2							
		キャリアディベロップメントA（教職）	3後		2	1					1
		キャリアディベロップメントB（健康）	3後		2		1				
		キャリアディベロップメントC（福祉）	3後		2	1					
		キャリアディベロップメントD（ビジネス実践）	3後		2	3	3	4			
		インターンシップ	3前	2						1	
教養基礎科目	人間と社会	人体の構造と機能及び疾病	1前		2						3
		防災の科学	1後		2						1
		地域福祉	2前		2						1
		健康スポーツ科学	1後		2						1
	人間と社会	日本国憲法	1前		2	1					
		社会学	1後		2	1	1				
		ソーシャルワーカー概論	1前		2						
		情報処理	1後		2						2
	人間と文化	心理学	1前		2		1				
		音楽療法概論	2前		2	1					
		社会福祉	2前		2						
	小計(26科目)		—	11	35	0	6	4	5	0	19
専門教育科目	専門共通科目	スポーツ健康福祉入門	1前	2				3			
	専門コア科目	人間と健康	1前	2				1			
	専門教育科目	スポーツ心理学	1前	2				1			

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	精神保健 I	1前	2			1					
	スポーツ健康福祉論	3後	2			3					
	アダプティッド・スポーツ科学	3前	2			2	1				
	アダプティッド・スポーツ科学演習	3前	2			1	1				2
	アダプティッド・インクルーシブ・スポーツ論	3後	2			1	1				
	アダプティッド・スポーツ実習	3後	1			1	1				2
	スポーツ健康福祉演習	1後	2			2	2	3			
	人間健康学基礎研究 I	2前	2			2	3	3			
	人間健康学基礎研究 II	2後	2			2	3	3			
	人間健康学研究 I	3前	2			5	3	4			
専門共通科目	人間健康学研究 II	3後	2			5	3	4			
	卒業研究 I	4前	3			5	3	4			
	卒業研究 II	4後	3			5	3	4			
	小計 (16科目)		-	33	0	0	6	4	4	0	0
											2
	小計 (16科目)		-	33	0	0	5	4	5	0	0
専門教育科目	スポーツ社会学 I	2前	2			1					
	スポーツ社会学 II	2後	2			1					
	スポーツ史	2後	2			1					1
	スポーツ経営学	2後	2			1					
	スポーツ身体論	1後	2			1					
	スポーツ政策	3前	2			1					
	スポーツ法学	3後	2			1					
	スポーツ運動学 I	2前	2			1					
	スポーツ運動学 II	2後	2			1					
	メンタル・トレーニング	2後	2			1					
専門コース科目	コーチング学 I	2前	2			1					
	コーチング学 II	2後	2			1					
	バイオメカニクス I	2前	2			1					
	バイオメカニクス II	2後	2			1					
	スポーツ生理学 I	1後	2			1					
	スポーツ生理学 II	2後	2			1					
	スポーツ栄養学	1後	2			1					
	スポーツ栄養学演習	2後	2			1					
	保健体育科教育法 I	1後	2			1	1				
	保健体育科教育法 II	2前	2			1	1				
専門コース専門科目	保健体育科教育法 III	2後	2			1	1				
	保健体育科教育法 IV	3前	2			1	1				
	健康医学	2前	2			1	1				1
	スポーツ医学	2後	2			1	1				1
	小計 (16科目)		-	33	0	0	5	4	5	0	0
											2
専門教育科目	スポーツ社会学 I	2前	2			1					
	スポーツ社会学 II	2後	2			1					
	スポーツ史	2後	2			2					1
	スポーツ経営学	2後	2			2					
	スポーツ身体論	1後	2			2					
	スポーツ政策	3前	2			2					
	スポーツ法学	3後	2			2					
	スポーツ運動学 I	2前	2			2					1
	スポーツ運動学 II	2後	2			2					1
	メンタル・トレーニング	2後	2			2					
専門コース専門科目	コーチング学 I	2前	2			2					
	コーチング学 II	2後	2			2					
	バイオメカニクス I	2前	2			2					1
	バイオメカニクス II	2後	2			2					1
	スポーツ生理学 I	1後	2			2					1
	スポーツ生理学 II	2後	2			2					1
	スポーツ栄養学	1後	2			2					1
	スポーツ栄養学演習	2後	2			2					1
	保健体育科教育法 I	1後	2			2					1
	保健体育科教育法 II	2前	2			2					1
専門コース専門科目	保健体育科教育法 III	2後	2			2					1
	保健体育科教育法 IV	3前	2			2					1
	健康医学	2前	2			2					1
	スポーツ医学	2後	2			2					1
	小計 (16科目)		-	33	0	0	5	4	5	0	0
											2

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目	衛生学及び公衆衛生学	1前	2							1
	学校保健	1後	2							2
	救急処置	2後	1							2
	トレーニング処方	3前	2							1
	スポーツ指導実技A I (陸上競技)	2前	1	1						1
	スポーツ指導実技A II (器械体操)	2後	1							1
	スポーツ指導実技A III (水泳)	2前	1			1				1
	スポーツ指導実技A IV (体づくり運動/トレーニング)	3前	1			1				1
	スポーツ指導実技B I (球技: ゴール型)	1前	1			1				1
	スポーツ指導実技B II (球技: ゴール型)	1後	1			1				1
	スポーツ指導実技B III (球技: ネット型)	1後	1		1					1
	スポーツ指導実技B IV (球技: ベースボール型)	1前	1			1				1
	スポーツ指導実技C I (舞蹈・ダンス)	2後	1			1				1
	スポーツ指導実技C II (柔道)	3前	1							1
	スポーツ指導実技C III (剣道)	3前	1							1
	フィジカルエクササイズ演習 I (ヨガ)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 II (スポーツトレーナー)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 III (スポーツインストラクター)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 IV (スタジオプログラム)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 V (介護予防)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 VI (舞踊・ダンス)	3前	2		1					1
	健康運動現場実習	3前	1		1	2				
専門コース専門科目	野外活動実習A I	2前	1		1					
	野外活動実習A II	3前	1		1					
	野外活動実習B I	2後	1		1					
	野外活動実習B II	3後	1		1					
	小計 (50科目)	-	10	73	0	4	3	2	0	15
	社会福祉政策	2後	2		1					1
	コミュニティソーシャルワーク	2後	2							1
健康福祉コース専門科目	福祉行財政と福祉計画	2前	2		1					1
	社会保障論 I	2前	2		1					1
	社会保障論 II	2後	2		1					1
	公的扶助論	1後	2		1					1
	保健医療サービス論	2後	2		1					1
	地域包括ケア論	3前	2		2					1
	医療ソーシャルワーク演習 I	3後	1		1					1
	医療ソーシャルワーク演習 II	4前	1		1					1
	権利擁護と成年後見	1後	2		1					1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目	衛生学及び公衆衛生学	1前	2							1
	学校保健	1後	2							2
	救急処置	2後	1							2
	トレーニング処方	3前	2							1
	スポーツ指導実技A I (陸上競技)	2前	1	1						1
	スポーツ指導実技A II (器械体操)	2後	1							1
	スポーツ指導実技A III (水泳)	2前	1			1				1
	スポーツ指導実技A IV (体づくり運動/トレーニング)	3前	1			1				1
	スポーツ指導実技B I (球技: ゴール型)	1前	1			1				1
	スポーツ指導実技B II (球技: ゴール型)	1後	1			1				1
	スポーツ指導実技B III (球技: ネット型)	1後	1		1					1
	スポーツ指導実技B IV (球技: ベースボール型)	1前	1			1				1
	スポーツ指導実技C I (舞蹈・ダンス)	2後	1			1				1
	スポーツ指導実技C II (柔道)	3前	1			1				1
	スポーツ指導実技C III (剣道)	3前	1			1				1
	フィジカルエクササイズ演習 I (ヨガ)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 II (スポーツトレーナー)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 III (スポーツインストラクター)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 IV (スタジオプログラム)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 V (介護予防)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 VI (舞踊・ダンス)	3前	2		1					1
	健康運動現場実習	3前	1		1	2				
専門コース専門科目	野外活動実習A I	2前	1		1					
	野外活動実習A II	3前	1		1					
	野外活動実習B I	2後	1		1					
	野外活動実習B II	3後	1		1					
	小計 (50科目)	-	10	73	0	3	4	0	0	16
	社会福祉政策	2後	2			1				1
	コミュニケーションソーシャルワーク	2後	2							1
	福祉行財政と福祉計画	2前	2		1					1
	社会保障論 I	2前	2		1					1
	社会保障論 II	2後	2		1					1
健康福祉コース専門科目	公的扶助論	1後	2		1					1
	保健医療サービス論	2後	2		1					1
	地域包括ケア論	3前	2		2					1
	医療ソーシャルワーク演習 I	3後	1		1					1
	医療ソーシャルワーク演習 II	4前	1		1					1
	権利擁護と成年後見	1後	2		1					1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目 専門コース 専門科目 健康福祉 コース 専門科目	社会調査概論	3前	2		1						
	相談援助の基盤と専門職	1後	2	2	2						
	ソーシャルワーク I	2前	2	2	1						1
	ソーシャルワーク II	2後	2			1					
	ソーシャルワーク III	3前	2				1				
	ソーシャルワーク IV	3後	2		1				1		
	社会福祉経営論	3後	2						1		
	障害児・者福祉	1後	2			1				1	
	高齢者福祉論 I	2前	2						1		
	高齢者福祉論 II	2後	2			1				1	
	児童・家庭福祉論	2後	2				1				
	就労支援	3前	1						1		
	更生保護	3前	1						1		
	精神医学 I	2前	2						1		
	精神医学 II	2後	2						1		
	精神保健 II	1後	2		1					1	
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後	2	2	1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	3前	2	2	1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	3後	2	2	1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III	4前	2	2	1						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 IV	4後	2	2					1		
	精神保健福祉に関する制度とサービス I	3前	2	2	1						
	精神保健福祉に関する制度とサービス II	3後	2	2	1						
	精神障害者の生活支援システム	3後	2						1		
	ソーシャルワーク演習	2後	1	1	1	1					
	相談援助演習 I	3前	1	1	1	1					
	相談援助演習 II	3前	1	1	1	1					
	相談援助演習 III	3後	1	1	1	1					
	相談援助演習 IV	3後	1	1	1	1					
	相談援助実習指導 I	2後	1	1	1	1					
	相談援助実習指導 II	3前	1	1	1	1					
	相談援助実習指導 III	3後	1	1	1	1					
	相談援助実習	3後	4	2	1				1		
	精神保健福祉演習 I	4前	1	1					1		
	精神保健福祉演習 II	4前	1	1					1		
	精神保健福祉実習指導 I	3後	1	1					1		
	精神保健福祉実習指導 II	4前	1	1					1		
	精神保健福祉実習指導 III	4後	1	1					1		
	精神保健福祉実習	4後	5	2							1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門教育科目 専門コース専門科目	栄養と生活習慣病 I	2前	2				1				
	栄養と生活習慣病 II	2後	2				1				
	高齢者・障害者身体活動論 I	3前	2	1							
	高齢者・障害者身体活動論 II	3後	2	1							
	重度障害者身体活動論 I	3前	2			1					
	重度障害者身体活動論 II	3後	2			1					
	レクリエーション実習 I	3前	1							1	
	レクリエーション実習 II	3後	1							1	
小計(58科目)		-	10	92	0	5	1	3	0	0	9

教職概論	1後	2	1							
教育原理	1前	2	1							
教育心理学	1前	2						1		
教育社会学	1前	2					2			
教育課程論	2後	2					1			
教育方法論	2後	2					1			
特別活動論	2前	2					2			
道德教育論	2前	2	1							
生徒指導論	2後	2	1					1		
教育相談	2後	2					4			
教育実習指導	3前	1	1	1						
教育実習	3後	4	1	1						
教職実践演習(中・高)	4後	2	1	1						1
小計(13科目)	-	0	0	27	2	1	0	0	0	12
合計(163科目)	-	64	200	27	10	4	4	0	0	52

卒業要件及び履修方法

必修科目54単位
選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目的3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。

履修科目の登録の上限:23単位(1学期)
コース選択は、2年次に行う。

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門教育科目 専門コース専門科目	栄養と生活習慣病 I	2前	2				1				
	栄養と生活習慣病 II	2後	2				1				
	高齢者・障害者身体活動論 I	3前	2	1							
	高齢者・障害者身体活動論 II	3後	2	1							
	重度障害者身体活動論 I	3前	2			1					
	重度障害者身体活動論 II	3後	2			1					
	レクリエーション実習 I	3前	1							1	
	レクリエーション実習 II	3後	1							1	
小計(58科目)		-	10	92	0	5	1	3	0	0	10
教員養成科目	教職概論	1後					2	1			
	教育原理	1前	2	1			2	1			
	教育心理学	1前	2				2				1
	教育社会学	1前	2				2				2
	教育課程論	2後	2				2				1
	教育方法論	2後	2				2				1
	特別活動論	2前	2				2				2
	道德教育論	2前	2	1			2	1			
	生徒指導論	2後	2	1			2				1
	教育相談	2後	2				4				4
	教育実習指導	3前	1	1	1						1
	教育実習	3後	4	1	1						1
	教職実践演習(中・高)	4後	2	1	1						1
小計(13科目)		-	0	0	27	2	1	0	0	0	12
合計(163科目)		-	64	200	27	10	4	4	0	0	60
卒業要件及び履修方法											

必修科目54単位
選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目の3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。

履修科目の登録の上限:23単位(1学期)
コース選択は、2年次に行う。

【令和2年度】

科 目 分 类	授業科目的名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 师	助 教	助 手	
教養共通科目	教養ナレッジ	人間健康学基礎演習	1前	2		2	3	2			
		フレッシュマンセミナー（文化に生きる）	1前	1		1					
	外國語科目	広島のスペシャリスト	2前	2		1					
		英語 I	1前	1							4
		英語 II	1後	1							5
		応用英語	2前		1						2
		中国語	2前		1						1
	デザインリニア科目	韓国語	2前		1						1
		キャリアデザイン	1前	2							1
		キャリアディベロップメントA（教職）	3後		2			1			
		キャリアディベロップメントB（健康）	3後		2			1			
		キャリアディベロップメントC（福祉）	3後		2		1				
		キャリアディベロップメントD（ビジネス実践）	3後		2		2	4	4		1
教養基礎科目	人間と環境	インターンシップ	3前	2							
		人体の構造と機能及び疾病	1前		2						3
		防災の科学	1後		2						1
		地域福祉	2前		2						1
	人間と社会	健康スポーツ科学	1後		2						1
		日本国憲法	1前		2		1				
		社会学	1後		2						1
		ソーシャルワーク概論	1前		2		1		1		2
	人間と文化	情報処理	1後		2						
		心理学	1前		2			1			
		音楽療法概論	2前		2						
		社会福祉	2前		2		1				1
		地域スポーツ論	2前		2		1				
小計(26科目)			-	11	35	0	6	5	4	0	0
専門教育科目	専門共通科目	専門コア科目	スポーツ健康福祉入門	1前	2			3			
			人間と健康	1前	2			1			
			スポーツ心理学	1前	2			1			

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
スポーツ健康コース専門科目	衛生学及び公衆衛生学	1前	2							1
	学校保健	1後	2							2
	救急処置	2後	1							1
	トレーニング処方	3前	2							1
	スポーツ指導実技AⅠ (陸上競技)	2前	1		1					1
	スポーツ指導実技AⅡ (器械体操)	2後	1							1
	スポーツ指導実技AⅢ (水泳)	2前	1			1				
	スポーツ指導実技AⅣ (体つくり運動/トレーニング)	3前	1			1				
	スポーツ指導実技BⅠ (球技: ゴール型)	1前	1			1				
	スポーツ指導実技BⅡ (球技: ゴール型)	1後	1			1				
	スポーツ指導実技BⅢ (球技: ネット型)	1後	1		1					
	スポーツ指導実技BⅣ (球技: ベースボール型)	1前	1			1				
	スポーツ指導実技CⅠ (舞踊・ダンス)	2後	1		1					
	スポーツ指導実技CⅡ (柔道)	3前	1							1
	スポーツ指導実技CⅢ (剣道)	3前	1							1
	フィジカルエクササイズ演習 I (ヨガ)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 II (スポーツトレーナー)	3前	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 III (スポーツインストラクター)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 IV (スタジオプログラム)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 V (介護予防)	3後	2							1
	フィジカルエクササイズ演習 VI (舞踊・ダンス)	3前	2			1				
	健康運動現場実習	3前	1			1	2			
専門教育科目	野外活動実習A I	2前	1		1					
	野外活動実習A II	3前	1		1					
	野外活動実習B I	2後	1		1					1
	野外活動実習B II	3後	1		1					1
	小計(50科目)	-	10	73	0	3	3	4	0	0
										14
健康福祉コース専門科目	社会福祉政策	2後	2		1					
	コミュニティソーシャルワーク	2後	2							1
	福祉行政財政と福祉計画	2前	2			1				
	社会保障論 I	2前	2		1					
	社会保障論 II	2後	2		1					
	公的扶助論	1後	2			1				
	保健医療サービス論	2後	2		1					
	地域包括ケア論	3前	2		2					1
	医療ソーシャルワーク演習 I	3後	1		1					
	医療ソーシャルワーク演習 II	4前	1		1					
	権利擁護と成年後見	1後	2		1					

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目 専門コース専門科目	社会調査概論	3前	2		1					
	相談援助の基礎と専門職	1後	2		2					
	ソーシャルワーク I	2前	2		1					1
	ソーシャルワーク II	2後	2				1			
	ソーシャルワーク III	3前	2							
	ソーシャルワーク IV	3後	2		1					
	社会福祉経営論	3後	2							1
	障害児・者福祉	1後	2				1			1
	高齢者福祉論 I	2前	2							1
	高齢者福祉論 II	2後	2							1
	児童・家庭福祉論	2後	2			1				
	就労支援	3前	1							1
	更生保護	3前	1							1
	精神医学 I	2前	2							1
	精神医学 II	2後	2							1
	精神保健 II	1後	2			1				
	精神保健福祉相談援助の基礎(専門)	2後	2		1					
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	3前	2		1					
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	3後	2		1					
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 III	4前	2							1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 IV	4後	2							1
	精神保健福祉に関する制度とサービス I	3前	2		1					
	精神保健福祉に関する制度とサービス II	3後	2		1					
	精神障害者の生活支援システム	3後	2							1
	ソーシャルワーク演習	2後	1		1		1			
	相談援助演習 I	3前	1		1		1			
	相談援助演習 II	3前	1		1		1			
	相談援助演習 III	3後	1		1		1			
	相談援助演習 IV	3後	1		1		1			
	相談援助実習指導 I	2後	1		1		1			
	相談援助実習指導 II	3前	1		1		1			
	相談援助実習指導 III	3後	1		1		1			
	相談援助実習	3後	4		2		1			1
	精神保健福祉演習 I	4前	1		1					1
	精神保健福祉演習 II	4前	1		1					1
	精神保健福祉実習指導 I	3後	1		1					1
	精神保健福祉実習指導 II	4前	1		1					1
	精神保健福祉実習指導 III	4後	1		1					1
	精神保健福祉実習	4後	5		2					1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目 専門コース 専門科目	栄養と生活習慣病 I	2前	2					1		
	栄養と生活習慣病 II	2後	2					1		
	健康福祉コース	高齢者・障害者身体活動論 I	3前	2		1				
	高齢者・障害者身体活動論 II	3後	2		1					
	重度障害者身体活動論 I	3前	2			1				
	重度障害者身体活動論 II	3後	2			1				
	レクリエーション実習 I	3前	1							1
	レクリエーション実習 II	3後	1							1
	小計 (58科目)	-	10	92	0	5	2	2	0	0
教員養成科目	教職概論	1後		2	1					
	教育原理	1前		2	1					
	教育心理学	1前		2				2		
	教育社会学	1前		2					1	
	教育課程論	2後		2					1	
	教育方法論	2後		2					1	
	特別活動論	2前		2					2	
	道徳教育論	2前		2	1					
	生徒指導論	2後		2	1				1	
	教育相談	2後		2					4	
	特別支援教育の基礎	3前		1					1	
	総合的な学習の時間の指導法	3前		2					2	
	教育実習指導	3前		1		1	1			
	教育実習	3後		4		1	1			
	教職実践演習(中・高)	4後		2		1	1			1
小計 (15科目)		-	0	0	30	1	1	1	0	0
合計(165科目)		-	64	200	30	9	5	5	0	0
卒業要件及び履修方法										
必修科目54単位 選択必修科目として、教養教育科目的外国語科目から1単位、キャリアデザイン科目から2単位、教養基礎科目の3分野から各4単位、専門教育科目から55単位(ただし選択するコースの専門コース科目から34単位以上)を修得し、計124単位以上を修得すること。										
履修科目の登録の上限:23単位(1学期) コース選択は、2年次に行う。										

- (注)
 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかつたために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
 - （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教職課程認定申請教員審査により、「教育社会学」の兼任教員の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- 教職課程認定申請教員審査により、「教育相談」の兼任教員の配置を「兼任3」から「兼任4」に変更。

【令和元年度】

- 兼任教員の退職に伴い、「英語Ⅱ」の兼任教員配置を「4」から「5」に変更
- 兼任教授退職に伴い、「キャリアディベロップメントA(教職)」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「インターンシップ」の専任教員等の配置において、教授を「3」から「2」に、講師を「4」から「5」に変更
- 「情報処理」に新たに兼任講師を配置し、「1」を「2」に変更
- 専任教員退職に伴い、「人間健康学研究Ⅰ」の専任教員等の配置において、教授を「5」から「4」に、講師を「4」から「5」に変更
- 専任教員退職に伴い、「人間健康学研究Ⅱ」の専任教員等の配置において、教授を「5」から「4」に、講師を「4」から「5」に変更
- 専任教員退職に伴い、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置において、教授を「5」から「4」に、講師を「4」から「5」に変更
- 専任教員退職に伴い、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置において、教授を「5」から「4」に、講師を「4」から「5」に変更
- 専任教員退職に伴い、「スポーツ運動學Ⅰ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「スポーツ運動學Ⅱ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「保健体育科教育法Ⅰ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「保健体育科教育法Ⅱ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「保健体育科教育法Ⅲ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「保健体育科教育法Ⅳ」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- AC教員審査結果により、「野外活動実習BⅠ」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更
- AC教員審査結果により、「野外活動実習BⅡ」の兼任教員の配置を「0」から「1」に変更
- 教職課程再課程認定審査により、「特別支援教育の基礎」を設置し、兼任教員の配置を「0」から「1」に変更。
- 教職課程再課程認定審査により、「総合的な学習の時間の指導法」を設置し、兼任教員の配置を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職に伴い、「教育実習指導」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職により、「教育実習」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更
- 専任教員退職により、「教職実践演習（中・高）」の専任教員等の配置において、講師を「0」から「1」に変更

【令和2年度】

- 兼任教員の採用に伴い、「教育心理学」の兼任教員配置を「1」から「2」に変更
- 兼任教員の退職に伴い、「教育社会学」の兼任教員配置を「2」から「1」に変更
- AC教員審査結果により、以下の科目的専任教員等の配置を変更。
「人間健康学基礎演習」准教授「2」から「3」に、講師「3」から「2」に変更

「インターンシップ」准教授「3」から「4」に、講師「5」から「4」に変更

「アダプティッド・スポーツ科学」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「アダプティッド・スポーツ科学演習」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更

「インクルーシブ・スポーツ論」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更

「アダプティッド・スポーツ実習」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「スポーツ健康福祉学演習」准教授「2」から「3」に、講師「3」から「2」に変更
「人間健康学基礎研究Ⅰ」准教授「3」から「4」に、講師「3」から「2」に変更
「人間健康学基礎研究Ⅱ」准教授「3」から「4」に、講師「3」から「2」に変更

「人間健康学研究Ⅰ」准教授「3」から「4」に、講師「5」から「4」に変更
「人間健康学研究Ⅱ」准教授「3」から「4」に、講師「5」から「4」に変更
「卒業研究Ⅰ」准教授「3」から「4」に、講師「5」から「4」に変更

「卒業研究Ⅱ」准教授「3」から「4」に、講師「5」から「4」に変更
「重度障害者身体活動論Ⅰ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「重度障害者身体活動論Ⅱ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更

【令和3年度】

- 社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正に伴う変更
 - ・新規開設
「精神保健福祉の原理Ⅱ」教授「1」
「精神保健福祉演習Ⅲ」教授「1」、兼任・兼任教員配置「1」
 - ・科目名称変更
「人体の構造と機能及び疾病」を「医学概論」に変更 兼任教員配置を「3」から「2」に変更
「社会福祉」を「社会福祉の原理と政策Ⅰ」に変更
「社会福祉政策」を「社会福祉の原理と政策Ⅱ」に変更
「相談援助の基盤と専門職」を「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」に変更
「高齢者福祉論Ⅰ」を「高齢者福祉論」に変更
「更生保護」を「刑事司法と福祉」に変更
「精神保健福祉相談援助の基盤（専門）」を「精神保健福祉の原理Ⅰ」に変更
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」を「ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ」に変更
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」を「ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ」に変更
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ」を「精神障害リハビリテーション論」に変更
「精神障害者の生活支援システム」を「精神保健福祉制度論」に変更
 - ・科目的廃止
「福祉行政と福祉計画」准教授「1」から「0」に変更
「高齢者福祉論Ⅱ」兼任教員配置を「1」から「0」に変更
「就労支援」兼任教員配置を「1」から「0」に変更
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ」兼任教員配置を「1」から「0」に変更
「精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ」教授「1」から「0」に変更
「精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ」教授「1」から「0」に変更
- AC教員審査結果により、以下の科目の専任教員等の配置を変更。
 - 「インターンシップ」准教授「4」から「5」に、講師「4」から「3」に変更
「ソーシャルワーク概論」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「人間健康学研究Ⅰ」准教授「4」から「5」に、講師「4」から「3」に変更
「人間健康学研究Ⅱ」准教授「4」から「5」に、講師「4」から「3」に変更
「卒業研究Ⅰ」准教授「4」から「5」に、講師「4」から「3」に変更
「卒業研究Ⅱ」准教授「4」から「5」に、講師「4」から「3」に変更
「スポーツ指導実技AⅡ（器械体操）」講師「0」から「1」に変更
「ソーシャルワークⅢ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「障害児・者福祉」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「ソーシャルワーク演習」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助演習Ⅰ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助演習Ⅱ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助演習Ⅲ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助演習Ⅳ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助実習指導Ⅰ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助実習指導Ⅱ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助実習指導Ⅲ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更
「相談援助実習指導Ⅳ」准教授「0」から「1」に、講師「1」から「0」に変更

(注) ・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。
- AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計(A)
33 科目	117 科目	13 科目	163 科目	33 科目 []	113 科目 [△4]	15 科目 [△2]	161 科目

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	野外活動実習BⅡ	1単位	3後	専門	選択	本科目の履修は、野外活動実習BⅠの単位修得者を対象者とする履修指導を行っているが、前年度は雪がなく未開講となつたため、履修対象者がいない状況となつた。令和3年度開講時に履修させる
2	野外活動実習AⅠ	1単位	2前	専門	選択	コロナウィルス感染拡大防止のため令和3年度開講時に履修させる
3	野外活動実習AⅡ	1単位	3前	専門	選択	コロナウィルス感染拡大防止のため令和3年度開講時に履修させる

- (注)
 - 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかつたために未開講となつた科目については記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	福祉行政財政と福祉計画	2	2	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による
2	高齢者福祉論Ⅱ	2	2	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による
3	就労支援	1	3	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による
4	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	2	4	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による
5	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2	3	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による
6	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2	3	専門	選択	社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正による

- (注)
 - 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、新型コロナウィルス感染拡大及び気象条件によるものでやむを得ないと考える。令和3年度に履修をさせる。
 廃止科目については、社会福祉士及び介護福祉士法施行規則及び精神保健福祉士法施行規則の改正に伴う名称変更・廃止のためやむを得ないと考える。
 学生への周知については、オリエンテーションやメール等により周知を図った上、チーチャーが適宜指導を行う。

- (注)
 - 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{9}{163} = \boxed{5.52\%}$$

- (注)
 - 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	広島文化学園短期大学と共用			
	校舎敷地	46,037.34m ²	15,815.29m ²	0.00m ²	61,852.63m ²				
	運動場用地	63,611.31m ²	2,767.80m ²	0.00m ²	66,379.11m ²				
	小計	109,648.65m ²	18,583.09m ²	0.00m ²	128,231.74m ²				
	その他	65,903.74m ²	8,352.12m ²	0.00m ²	74,255.86m ²				
	合計	175,552.39m ²	26,935.21m ²	0.00m ²	202,487.60m ²				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	広島文化学園短期大学と共用			
		28,000.28m ² (28,000.28m ²)	9,554.47m ² (9,554.47m ²)	3,597.29m ² (3,597.29m ²)	41,152.04m ² (41,152.04m ²)				
(3) 教室等		講義室 36室	演習室 116室	実験実習室 14室	情報処理学習施設 (補助職員 3人)	語学学習施設 (補助職員 人)	大学全体		
		新設学部等の名称		室数		(平成31年4月) 専任教員1名退職 専任教員2名採用のため (元)			
(4) 専任教員研究室		人間健康学部 スポーツ健康福祉学科		19 18		室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科	図書 冊 〔うち外国書〕	学術雑誌 種 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点 〔うち外国書〕	機械・器具 点 〔うち外国書〕	標本 点 〔うち外国書〕	R2新規購入のため (3) R1新規購入のため (2) H30新規購入のため (元)	
		3,448 [279] (2,637 [265]) (1,675 [226]) (1,122 [206]) (- 921 [179])	24 [5] (39 [6]) (45 [8]) (37 [10]) (- 0 [0])	20 [20] (0 [0]) (- 0 [0]) (- 0 [0]) (- 0 [0])	51 (54) (39) (35) (23)	0 (0) (0) (0) (0)	0 (0) (0) (0) (0)		
		3,448 [279] (2,637 [265]) (1,675 [226]) (1,122 [206]) (- 921 [179])	24 [5] (39 [6]) (45 [8]) (37 [10]) (- 0 [0])	20 [20] (0 [0]) (- 0 [0]) (- 0 [0]) (- 0 [0])	51 (54) (39) (35) (23)	0 (0) (0) (0) (0)	0 (0) (0) (0) (0)		
		計							
(6) 図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
		2,435m ²		392席		205,000冊			
(7) 体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		4,894m ²		野球場(1面)、サッカー場(1面)、テニスコート(11面)、柔道場、マシン・トレーニング室、ダンス・スタジオ					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	4,816千円	798千円	3,424千円	
	共同研究費等	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	223,327千円	1,000千円	1,000千円	
		学生1人当たり納付金	1,230千円	980千円	980千円	980千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金収入、資産運用収入、雑収入等						

- (注)
 - ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C対象学部等の数値を記入してください。）
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島文化学園大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学部 グローバルビジネス学科	年 4	人 —	年次人 —	人 —	学士 (社会情報学)	—	— 平成25年度	年度 平成25年度	年度 広島県安芸郡坂町平成ヶ浜三丁目3番20号	平成30年学生募集停止
健康福祉学科	年 4	人 —	年次人 —	人 —	学士 (健康福祉学)	—	— 平成15年度	年度 同上	年度 同上	平成30年学生募集停止
看護学部 看護学科	年 4	人 130	年次人 2年次4 3年次4	人 540	学士 (看護学)	0.79	— 平成11年度	年度 平成11年度	年度 広島県呉市阿賀南二丁目10番3号	平成29年度入学定員変更(10)
学芸学部 子ども学科	年 4	人 80	年次人 3年次10	人 340	学士 (子ども学)	0.83	— 平成22年度	年度 平成22年度	年度 広島市安佐南区長東西三丁目5番1号	
音楽学科	年 4	人 40	年次人 3年次5	人 170	学士 (音楽)	1.13	— 平成22年度	年度 同上	年度 同上	
人間健康学部 スポーツ健康福祉学科	年 4	人 120	年次人 2年次5 3年次10	人 515	学士 (健康学)	1.12	— 平成30年度	年度 平成30年度	年度 広島県呉市郷原学びの丘一丁目1番1号	
大学全体	—	人 370	年次人 38	人 1,555	—	0.96	—	—	—	
社会情報研究科 社会情報専攻										
博士課程(前期) —	年 2	人 —	年次人 —	人 —	修士 (学術)	—	— 平成11年度	年度 平成11年度	年度 広島県呉市郷原学びの丘一丁目1番1号	令和元年度廃止 平成30年学生募集停止
博士課程(後期) —	年 3	人 —	年次人 —	人 —	修士 (学術)	—	— 平成13年度	年度 平成13年度	年度 同上	令和元年度廃止 平成30年学生募集停止
看護学研究科 看護学専攻										
博士課程(前期)	年 2	人 8	年次人 —	人 16	修士 (看護学)	0.50	— 平成16年度	年度 平成16年度	年度 広島県呉市阿賀南二丁目10番3号	平成29年度入学定員変更(△2)
博士課程(後期)	年 3	人 3	年次人 —	人 9	修士 (看護学)	0.66	— 平成24年度	年度 平成24年度	年度 同上	平成29年度入学定員変更(△3)
教育学研究科 子ども学専攻										
博士課程(前期)	年 2	人 8	年次人 —	人 16	修士 (子ども学)	0.06	— 平成26年度	年度 平成26年度	年度 広島市安佐南区長東西三丁目5番1号	
博士課程(後期)	年 3	人 3	年次人 —	人 9	修士 (子ども学)	0.11	— 平成28年度	年度 平成28年度	年度 同上	
大学院全体	—	人 22	年次人 —	人 50	—	0.33	—	—	—	

大学の名称	広島文化学園短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
コミュニティ生活学科	年 2	人 80	年次人 —	人 160	短期大学士(生活総合学)	倍 1.05		平成15年度	広島市安佐南区長東西三丁目5番1号	
食物栄養学科	年 2	人 50	年次人 —	人 100	短期大学士(栄養学)	倍 0.82	—	昭和42年度	同上	
保育学科	年 2	人 100	年次人 —	人 200	短期大学士(保育学)	倍 0.78		昭和57年度	同上	
短期大学全体	—	人 230	年次人 —	人 460	—	倍 0.88	—	—	—	

- (注)
 - ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 - （専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A-C対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜人間健康学部 スポーツ健康福祉学科＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名												
		工藤 隆治 (56) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)		工藤 隆治 (57) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)		工藤 隆治 (58) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	社会福祉 社会福祉政策 社会保障論 I 社会保障論 II キャリアディベロップメント C(福祉) 相談援助実習指導 I 相談援助実習 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II スポーツ健康福祉入門	社会福祉 社会福祉政策 社会保障論 I 社会保障論 II キャリアディベロップメント C(福祉) 相談援助実習指導 I 相談援助実習 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II スポーツ健康福祉入門	工藤 隆治 (59) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	社会福祉 社会福祉政策 社会保障論 I 社会保障論 II キャリアディベロップメント C(福祉) 相談援助実習指導 I 相談援助実習 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II スポーツ健康福祉入門	工藤 隆治 (60) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	社会福祉の原理と政策 I 社会福祉の原理と政策 II 社会保障論 I 社会保障論 II キャリアディベロップメント C(福祉) 相談援助実習指導 I 相談援助実習 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II スポーツ健康福祉入門	小谷 寛二 (73) <平成30年4月> 教育学士	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II	小谷 寛二 (74) <平成30年4月> 教育学士	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II	小谷 寛二 (75) <平成30年4月> 教育学士	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II	小谷 寛二 (76) <平成30年4月> 教育学士	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II	小谷 寛二 (77) <平成30年4月> 教育学士	地域スポーツ論 スポーツ経営学 スポーツ身体論 スポーツ政策 スポーツ法学 野外活動実習 I 野外活動実習 II
専 教授		佐々木哲二郎 (69) <平成30年4月> 博士(社会学)		佐々木哲二郎 (70) <平成30年4月> 博士(社会学)		佐々木哲二郎 (71) <平成30年4月> 博士(社会学)	精神保健福祉演習 I 精神保健福祉演習 II 精神保健福祉受講 精神保健福祉指導 I 精神保健福祉委嘱指導 II 精神保健福祉委嘱指導 III 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス I 精神保健福祉に関する制度とサービス II 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II 相談援助の基盤と専門職 地域包括ケア論	精神保健福祉演習 I 精神保健福祉演習 II 精神保健福祉受講 精神保健福祉美音指導 I 精神保健福祉美音指導 II 精神保健福祉美音指導 III 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス I 精神保健福祉に関する制度とサービス II 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II 相談援助の基盤と専門職 地域包括ケア論	佐々木哲二郎 (72) <平成30年4月> 博士(社会学)	精神保健福祉演習 I 精神保健福祉演習 II 精神保健福祉受講 精神保健福祉美音指導 I 精神保健福祉美音指導 II 精神保健福祉美音指導 III 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス I 精神保健福祉に関する制度とサービス II 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II 相談援助の基盤と専門職 地域包括ケア論	佐々木哲二郎 (73) <平成30年4月> 博士(社会学)	精神保健福祉演習 I 精神保健福祉演習 II 精神保健福祉受講 精神保健福祉美音指導 I 精神保健福祉美音指導 II 精神保健福祉美音指導 III 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉に関する制度とサービス I 精神保健福祉に関する制度とサービス II 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II 相談援助の基盤と専門職 地域包括ケア論	佐々木哲二郎 (74) <平成30年4月> 博士(社会学)	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I ソーシャルワークの理論と方法(専門) II ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) 地域包括ケア論 精神保健福祉演習 III									
専 教授		武田 守弘 (42) <平成30年4月> 博士(教育学)		武田 守弘 (43) <平成30年4月> 博士(教育学)		武田 守弘 (44) <平成30年4月> 博士(教育学)	スポーツ心理学 メンタル・トレーニング スポーツ指導実技BIII(球技: ネット型) 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II	スポーツ心理学 メンタル・トレーニング スポーツ指導実技BIII(球技: ネット型) 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II	武田 守弘 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)	スポーツ心理学 メンタル・トレーニング スポーツ指導実技BIII(球技: ネット型) 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II	武田 守弘 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)	スポーツ心理学 メンタル・トレーニング スポーツ指導実技BIII(球技: ネット型) 人間健康学基礎演習 インターネット スポーツ健康福祉学演習 人間健康学基礎研究 I 人間健康学基礎研究 II 人間健康学研究 I 人間健康学研究 II 卒業研究 I 卒業研究 II	武田 守弘 (47) <平成30年4月> 博士(教育学)										

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専 准教授	松尾 晋典 (38) <平成30年4月> 修士(体育科学)	松尾 晋典 (39) <平成30年4月> 修士(体育科学)	松尾 晋典 (40) <平成30年4月> 修士(体育科学)	准教授	松尾 晋典 (41) <平成30年4月> 修士(体育科学)	松尾 晋典 (42) <平成30年4月> 修士(体育科学)	准教授	松尾 晋典 (43) <平成30年4月> 修士(体育科学)	准教授	松尾 晋典 (44) <平成30年4月> 修士(体育科学)	准教授
専 講師	鬼塚 純玲 (27) <平成30年4月> 修士(学術)	鬼塚 純玲 (28) <平成30年4月> 博士(学術)	鬼塚 純玲 (29) <平成30年4月> 博士(学術)	専 講師	鬼塚 純玲 (30) <平成30年4月> 博士(学術)	鬼塚 純玲 (31) <平成30年4月> 博士(学術)	専 講師	鬼塚 純玲 (32) <平成30年4月> 博士(学術)	専 講師	鬼塚 純玲 (33) <平成30年4月> 博士(学術)	専 講師
専 講師	加地 信幸 (45) <平成30年4月> 修士(人間福祉)	加地 信幸 (46) <平成30年4月> 修士(人間福祉)	加地 信幸 (47) <平成30年4月> 修士(人間福祉)	専 講師	加地 信幸 (48) <平成30年4月> 修士(人間福祉)	加地 信幸 (49) <平成30年4月> 修士(人間福祉)	専 准教授	河野 喬 (40) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	専 講師	河野 喬 (41) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	専 講師
専 講師	河野 喬 (39) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	河野 喬 (40) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	河野 喬 (41) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	専 講師	河野 喬 (42) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	河野 喬 (43) <平成30年4月> 博士(藝術工学)	専 准教授	准教授	准教授	准教授	准教授

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼担	教授	藤原 隆 (70) <平成30年4月> 医学博士	人体の構造と機能及び疾病	兼担	教授	藤原 隆 (71) <平成30年4月> 医学博士	人体の構造と機能及び疾病	兼担	教授	藤原 隆 (72) <平成30年4月> 医学博士	人体の構造と機能及び疾病
		松尾 俊彦 (58) <令和2年4月> 博士(学術)	キャリアディベロップメントD(ビジネス実践)			松尾 俊彦 (59) <令和2年4月> 博士(学術)	キャリアディベロップメントD(ビジネス実践)			松尾 俊彦 (60) <令和2年4月> 博士(学術)	キャリアディベロップメントD(ビジネス実践)
兼担	教授	丸井 美保 (55) <平成30年4月> 博士(理学)	情報処理	兼担	教授	丸井 美保 (56) <平成30年4月> 博士(理学)	情報処理	兼担	教授	丸井 美保 (57) <平成30年4月> 博士(理学)	情報処理
		森田 克也 (65) <平成30年4月> 薬学博士	人体の構造と機能及び疾病			森田 克也 (66) <平成30年4月> 薬学博士	人体の構造と機能及び疾病			森田 克也 (67) <平成30年4月> 薬学博士	人体の構造と機能及び疾病
兼担	准教授	岩本 由美 (54) <平成31年4月> 修士(学術)	救急処置	兼担	准教授	岩本 由美 (55) <平成31年4月> 修士(学術)	救急処置	兼担	准教授	岩本 由美 (56) <平成31年4月> 修士(学術)	救急処置
		鶴岡 和幸 (40) <平成31年4月> 修士(社会情報)	相談援助実習 ソーシャルワークⅡ 精神保健福祉実習 精神保健福祉演習Ⅰ 精神保健福祉演習Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅰ 精神保健福祉実習指導Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅲ			鶴岡 和幸 (41) <平成31年4月> 修士(社会情報)	相談援助実習 ソーシャルワークⅡ 精神保健福祉実習 精神保健福祉演習Ⅰ 精神保健福祉演習Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅰ 精神保健福祉実習指導Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅲ			鶴岡 和幸 (42) <平成31年4月> 修士(社会情報)	相談援助実習 ソーシャルワークⅡ 精神保健福祉実習 精神保健福祉演習Ⅰ 精神保健福祉演習Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅰ 精神保健福祉実習指導Ⅱ 精神保健福祉実習指導Ⅲ
兼担	准教授	時津 啓 (42) <平成31年4月> 博士(教育学)	特別活動論	兼担	教授	時津 啓 (43) <平成31年4月> 博士(教育学)	特別活動論	兼担	講師	時津 啓 (44) <平成31年4月> 博士(教育学)	特別活動論
		和田 琴子 (58) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	音楽療法概論			和田 琴子 (59) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	音楽療法概論			和田 琴子 (60) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)	音楽療法概論
兼担	准教授			兼担	准教授			兼担	教授		
兼担	教授			兼担	教授			兼担	教授		

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	講師	杉山 祥子 (62) <平成30年4月> 修士(看護学)	学校保健	兼任	講師	杉山 祥子 (64) <平成30年4月> 修士(看護学)	学校保健	兼任	講師	杉山 祥子 (65) <平成30年4月> 修士(看護学)	学校保健
		山内 優佳 (30) <平成30年4月> 博士(教育学)	英語 I 英語 II 応用英語			山内 優佳 (31) <平成30年4月> 博士(教育学)	英語 I 英語 II 応用英語			Anthony J. Nepia (45) <平成30年4月> B A (ニュージーランド)	英語 I 英語 II 応用英語
兼任	講師	Anthony J. Nepia (45) <平成30年4月> B A (ニュージーランド)	英語 I 英語 II 応用英語	兼任	講師	Anthony J. Nepia (46) <平成30年4月> B A (ニュージーランド)	英語 I 英語 II 応用英語	兼任	講師	Anthony J. Nepia (47) <平成30年4月> B A (ニュージーランド)	英語 I 英語 II 応用英語
		石田 博嗣 (42) <平成31年4月> 修士(保健福祉学)	高齢者福祉論 I 高齢者福祉論 II 社会福祉経営論			石田 博嗣 (43) <平成31年4月> 修士(保健福祉学)	高齢者福祉論 I 高齢者福祉論 II 社会福祉経営論			石田 博嗣 (44) <平成31年4月> 修士(保健福祉学)	高齢者福祉論 I 高齢者福祉論 II 社会福祉経営論
兼任	講師	李 賛任 (40) <平成31年4月> 修士(文学)	韓国語	兼任	講師	李 賛任 (50) <平成31年4月> 修士(文学)	韓国語			石田 博嗣 (45) <平成31年4月> 修士(保健福祉学)	高齢者福祉論 I 高齢者福祉論 II 社会福祉経営論
		ト部 匠司 (40) <平成31年4月> 博士(教育学)	教育課程論			ト部 匠司 (41) <平成31年4月> 博士(教育学)	教育課程論			ト部 匠司 (42) <平成31年4月> 博士(教育学)	教育課程論
兼任	講師	鳥帽子田彰 (63) <平成31年4月> 医学博士	精神医学 I 精神医学 II	兼任	講師	鳥帽子田彰 (64) <平成31年4月> 医学博士	精神医学 I 精神医学 II			鳥帽子田彰 (65) <平成31年4月> 医学博士	精神医学 I 精神医学 II
		小笠原英敬 (60) <平成31年4月> 博士(医学)	スポーツ医学			小笠原英敬 (60) <平成31年4月> 博士(医学)	スポーツ医学			小笠原英敬 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	スポーツ医学
兼任	講師	海堀 正博 (61) <平成30年4月> 農学博士	防災の科学	兼任	講師	海堀 正博 (62) <平成30年4月> 農学博士	防災の科学			海堀 正博 (63) <平成30年4月> 農学博士	防災の科学
		梶原多真季 (44) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン			梶原多真季 (45) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン			梶原多真季 (46) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン
兼任	講師	梶原多真季 (44) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン	兼任	講師	梶原多真季 (47) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン			梶原多真季 (48) <平成30年4月> 学士(音楽)	キャリアデザイン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	河村 謙史 (45) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	河村 謙史 (46) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	河村 謙史 (47) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	講師	河村 謙史 (48) <令和2年4月> 修士(社会福祉学)
		精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ 精神障害者の生活支援システム			精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ 精神障害者の生活支援システム			精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ 精神障害者の生活支援システム			精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論
兼任	講師	金 炎勇 (43) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 炎勇 (44) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 炎勇 (45) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 炎勇 (46) <令和2年4月> 博士(教育学)
		スポーツ指導実技CⅢ(剣道)			スポーツ指導実技CⅢ(剣道)			スポーツ指導実技CⅢ(剣道)			スポーツ史
兼任	講師	金 頴 (62) <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	金 頤 (63) <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	金 頤 (64) <平成31年4月> 修士(学術)	兼任	講師	金 頤 (65) <平成31年4月> 修士(学術)
		中国語			中国語			中国語			中国語
兼任	講師	金 致偉 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 致偉 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 致偉 (65) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金 致偉 (66) <平成30年4月> 博士(教育学)
		健康スポーツ科学 レクリエーション実習 I レクリエーション実習 II			健康スポーツ科学 レクリエーション実習 I レクリエーション実習 II			健康スポーツ科学			健康スポーツ科学
兼任	講師	古川 雅文 (64) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	古川 雅文 (65) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	古川 雅文 (66) <平成31年4月> 文学修士	兼任	講師	古川 雅文 (67) <平成31年4月> 文学修士
		生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論
兼任	講師	崎田 嘉寛 (40) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	崎田 嘉寛 (41) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	崎田 嘉寛 (42) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	崎田 嘉寛 (43) <平成31年4月> 博士(教育学)
		スポーツ史			スポーツ史			スポーツ史			スポーツ史
兼任	講師	更科(福田)友美 (43) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	更科(福田)友美 (44) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	更科(福田)友美 (45) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	更科(福田)友美 (46) <平成31年4月> 修士(心理学)
		教育相談			教育相談			教育相談			教育相談
兼任	講師	下西さや子 (66) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	下西さや子 (67) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	下西さや子 (68) <令和2年4月> 修士(文学)	兼任	講師	下西さや子 (69) <令和2年4月> 修士(文学)
		更生保護			更生保護			更生保護			更生保護
兼任	講師	新谷 士朗 (62) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	新谷 士朗 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	新谷 士朗 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	新谷 士朗 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)
		スポーツ指導実技AⅡ(器械体操)			スポーツ指導実技AⅡ(器械体操)			スポーツ指導実技AⅡ(器械体操)			スポーツ指導実技AⅡ(器械体操)
兼任	講師	高田 純 (33) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	高田 純 (34) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	高田 純 (35) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	高田 純 (36) <平成31年4月> 博士(心理学)
		教育相談			教育相談			教育相談			教育相談
兼任	講師	田中 好行 (59) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	田中 好行 (60) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	田中 好行 (61) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	田中 好行 (62) <令和2年4月> 体育学士
		トレーニング処方			トレーニング処方			トレーニング処方			トレーニング処方

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	出口 達也 (55) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	出口 達也 (56) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	出口 達也 (57) <令和2年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	出口 達也 (58) <令和2年4月> 博士(教育学)
		スポーツ指導実技CⅡ(柔道)			スポーツ指導実技CⅡ(柔道)			スポーツ指導実技CⅡ(柔道)			スポーツ指導実技CⅡ(柔道)
兼任	講師	中山 翔太 (35) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	中山 翔太 (36) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	中山 翔太 (37) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	中山 翔太 (38) <令和2年4月> 専門学校卒
		フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)			フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)			フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)			フィジカルエクササイズ演習Ⅱ(スポーツトレーナー)
兼任	講師	西尾 明 (61) <令和3年4月> 教育学士	兼任	講師	西尾 明 (62) <令和3年4月> 教育学士	兼任	講師	西尾 明 (63) <令和3年4月> 教育学士	兼任	講師	西尾 明 (64) <令和3年4月> 教育学士
		教職実践演習(中・高)			教職実践演習(中・高)			教職実践演習(中・高)			教職実践演習(中・高)
兼任	講師	橋本 康男 (62) <令和2年4月> 修士(経営情報学)	兼任	講師	橋本 康男 (63) <令和2年4月> 修士(経営情報学)	兼任	講師	橋本 康男 (64) <令和2年4月> 修士(経営情報学)	兼任	講師	橋本 康男 (65) <令和2年4月> 修士(経営情報学)
		地域包括ケア論			地域包括ケア論			地域包括ケア論			地域包括ケア論
兼任	講師	平田香奈子 (39) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	平田香奈子 (39) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	平田香奈子 (40) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	平田香奈子 (41) <平成30年4月> 修士(教育学)
		アダプティッド・スポーツ科学演習 アダプティッド・スポーツ実習			アダプティッド・スポーツ科学演習 アダプティッド・スポーツ実習			アダプティッド・スポーツ科学演習 アダプティッド・スポーツ実習			アダプティッド・スポーツ科学演習 アダプティッド・スポーツ実習
兼任	講師	深澤 広明 (61) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	深澤 広明 (62) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	深澤 広明 (63) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	深澤 広明 (64) <平成30年4月> 修士(教育学)
		教育方法論			教育方法論			教育方法論			教育方法論
兼任	講師	Pauline Baldwin (58) <平成30年4月> BA(カナダ)	兼任	講師	Pauline Baldwin (59) <平成30年4月> BA(カナダ)	兼任	講師	Pauline Baldwin (60) <平成30年4月> BA(カナダ)	兼任	講師	Pauline Baldwin (61) <平成30年4月> BA(カナダ)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ			英語Ⅰ 英語Ⅱ			英語Ⅰ 英語Ⅱ			英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	Paul Merrett (57) <平成30年4月> BA(イギリス)				兼任	講師		兼任	講師	
		英語Ⅰ 英語Ⅱ									
兼任	講師	松村 康伸 (44) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	松村 康伸 (45) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	松村 康伸 (46) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	松村 康伸 (47) <令和2年4月> 専門学校卒
		フィジカルエクササイズ演習Ⅲ(スポーツインストラクター) フィジカルエクササイズ演習Ⅳ(スタジオプログラム)			フィジカルエクササイズ演習Ⅲ(スポーツインストラクター) フィジカルエクササイズ演習Ⅳ(スタジオプログラム)			フィジカルエクササイズ演習Ⅲ(スポーツインストラクター) フィジカルエクササイズ演習Ⅳ(スタジオプログラム)			フィジカルエクササイズ演習Ⅲ(スポーツインストラクター) フィジカルエクササイズ演習Ⅳ(スタジオプログラム)
兼任	講師	丸山 法子 (51) <平成31年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	丸山 法子 (52) <平成31年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	丸山 法子 (53) <平成31年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	丸山 法子 (54) <平成31年4月> 学士(社会学)
		地域福祉			地域福祉			地域福祉			地域福祉

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		
兼任	講師	三木由美子 (35) <平成30年4月> 博士(学術) アダブティッド・スポーツ科学 演習 アダブティッド・スポーツ実習	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		三木由美子 (36) <平成30年4月> 博士(学術)		
兼任	講師	道下 整 (51) <令和2年4月> 修士(医療福祉学) 就労支援	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		道下 整 (52) <令和2年4月> 修士(医療福祉学) 就労支援		
兼任	講師	山田 浩之 (53) <平成31年4月> 博士(教育学) 特別活動論	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		山田 浩之 (54) <平成31年4月> 博士(教育学) 特別活動論		
兼任	講師	横山 有里 (49) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演習 V(介護予防)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		横山 有里 (50) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習V(介護予防)		
兼任	講師	李 東林 (51) <平成30年4月> 博士(教育学) 教育社会学	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		李 東林 (52) <平成30年4月> 博士(教育学) 教育社会学		
兼任	講師	若林(杉岡)紀乃 (39) <平成30年4月> 修士(教育学) 教育心理学 教育相談	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		若林(杉岡)紀乃 (40) <平成30年4月> 修士(教育学) 教育心理学 教育相談		
兼任	講師	玉井 みゆき (47) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習I(ヨガ)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		玉井 みゆき (48) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習I(ヨガ)		
兼任	講師	要田 圭治 (65) <平成30年4月> 文学修士 英語 I 英語 II	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		太田 佳光 (65) <平成30年4月> 教育学修士 教育社会学		
兼任	講師	石田 弓 (50) <平成31年4月> 博士(心理学) 教育相談	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		石田 弓 (51) <平成31年4月> 博士(心理学) 教育相談		
兼任	講師	三木由美子 (38) <平成30年4月> 博士(学術) アダブティッド・スポーツ科 学演習 アダブティッド・スポーツ実 習	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		三木由美子 (39) <平成30年4月> 博士(学術) アダブティッド・スポーツ科 学演習 アダブティッド・スポーツ実 習		
兼任	講師	道下 整 (54) <令和2年4月> 修士(医療福祉学) 就労支援	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		道下 整 (55) <平成31年4月> 博士(医療福祉学) 就労支援		
兼任	講師	山田 浩之 (56) <平成31年4月> 博士(教育学) 特別活動論	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		山田 浩之 (57) <平成31年4月> 博士(教育学) 特別活動論		
兼任	講師	横山 有里 (52) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習V(介護予防)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		横山 有里 (53) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習V(介護予防)		
兼任	講師	李 東林 (53) <平成30年4月> 博士(教育学) 教育社会学	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		李 東林 (54) <平成30年4月> 博士(教育学) 教育社会学		
兼任	講師	若林(杉岡)紀乃 (42) <平成30年4月> 修士(教育学) 教育心理学 教育相談	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		若林(杉岡)紀乃 (43) <平成30年4月> 修士(教育学) 教育心理学 教育相談		
兼任	講師	玉井 みゆき (50) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習I(ヨガ)	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		玉井 みゆき (51) <令和2年4月> 準学士 フィジカルエクササイズ演 習I(ヨガ)		
兼任	講師	要田 圭治 (66) <平成30年4月> 教育学修士 英語 I 英語 II	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		太田 佳光 (66) <平成30年4月> 教育学修士 教育社会学		
兼任	講師	石田 弓 (52) <平成31年4月> 博士(心理学) 教育相談	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		石田 弓 (53) <平成31年4月> 博士(心理学) 教育相談		

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等					
		<就任(予定)年月> 保有学位等				<就任(予定)年月> 保有学位等				<就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名					
兼任	講師	菅原 通雅 (66) <平成31年4月> 工学士	情報処理	兼任	講師	菅原 通雅 (67) <平成31年4月> 工学士	情報処理	兼任	講師	菅原 通雅 (68) <平成31年4月> 工学士	情報処理				
兼任	講師	山中 志保 (52) <平成31年4月> 教育学士	英語 I 英語 II 応用英語	兼任	講師	Vincent Grisanti (43) <平成31年4月> MA (イギリス)	英語 II	兼任	講師	崔 真英 (39) <平成31年4月> 修士 (公演芸術学)	韓国語				
兼任	講師	崔 真英 (38) <平成31年4月> 修士 (公演芸術学)	韓国語	兼任	講師	佐々木 高伸 (71) <平成31年4月> 医学博士	精神医学 I	兼任	講師	佐々木 高伸 (72) <平成31年4月> 医学博士	精神医学 I				
兼任	講師	早川 浩 (58) <平成31年4月> 博士 (医学)	精神医学 II	兼任	講師	早川 浩 (59) <平成31年4月> 博士 (医学)	精神医学 II	兼任	講師	早川 浩 (60) <平成31年4月> 博士 (医学)	精神医学 II				
兼任	講師	Daniel Infante (33) <平成31年4月> MA (アメリカ)	英語 I 英語 II	兼任	講師	Daniel Infante (34) <平成31年4月> MA (アメリカ)	英語 I 英語 II	兼任	講師	Daniel Infante (35) <平成31年4月> MA (アメリカ)	英語 I 英語 II				
兼任	講師	上田 紲 (55) <平成31年4月> 博士 (教育学)	野外活動実習 I 野外活動実習 B II	兼任	講師	上田 紲 (56) <平成31年4月> 博士 (教育学)	野外活動実習 B I 野外活動実習 B II	兼任	講師	上田 紲 (57) <平成31年4月> 博士 (教育学)	野外活動実習 B I 野外活動実習 B II				
兼任	講師	堀田 哲一郎 (60) <令和3年4月> 修士 (教育学)	特別支援教育の基礎	兼任	講師	堀田 哲一郎 (61) <令和3年4月> 修士 (教育学)	特別支援教育の基礎	兼任	講師	堀田 哲一郎 (61) <令和3年4月> 修士 (教育学)	特別支援教育の基礎				
兼任	講師	岡本 義裕 (54) <令和3年4月> 修士 (教育学)	総合的な学習の時間の指導法	兼任	講師	岡本 義裕 (55) <令和3年4月> 修士 (教育学)	総合的な学習の時間の指導法	兼任	講師	岡本 義裕 (56) <令和3年4月> 修士 (教育学)	総合的な学習の時間の指導法				
兼任	講師	中尾 豊喜 (60) <令和3年4月> 修士 (学校教育学)	総合的な学習の時間の指導法	兼任	講師	中尾 豊喜 (61) <令和3年4月> 修士 (学校教育学)	総合的な学習の時間の指導法	兼任	講師	中尾 豊喜 (62) <令和3年4月> 修士 (学校教育学)	総合的な学習の時間の指導法				

専任 ・ 兼担 ・ 兼任 の別	職名 <就任（予定）年月> 保有学位等
担当授業科目名	

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小澤 郁美 (27) <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育心理学
兼任	講師	櫻井 由佳 (41) <令和2年4月> 学士(医学)
		人体の構造と機能及び疾患 健康医学 救急処置
兼任	講師	鄭 勲九 (45) <令和2年4月> 博士(学術)
		レクリエーション実習Ⅰ レクリエーション実習Ⅱ
兼任	講師	Edward Cooper Howland (37) <令和2年4月> MA(アメリカ)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 応用英語
兼任	講師	Trach Russell Lawrence Kemp (25) <令和2年4月> B A (カナダ)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	Caroline Lloyd (56) <令和2年4月> 学士(教育学)
		英語Ⅱ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小澤 郁美 (28) <令和2年4月> 博士(教育学) 教育心理学
		櫻井 由佳 (42) <令和2年4月> 学士(医学)
兼任	講師	医学概論 健康医学 救急処置 スポーツ医学
		鄭 勤九 (46) <令和2年4月> 博士(学術) レクリエーション実習 I レクリエーション実習 II
兼任	講師	Edward Cooper Howland (38) <令和2年4月> MA (アメリカ) 英語 I 英語 II 応用英語
		Trach Russell Lawrence Kemp (26) <令和2年4月> BA (カナダ) 英語 I 英語 II

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年末時点の情報として記入してください。)
申請認可書又は設置届出書の形式第3号（その2の1）に沿って作成してください。
「認可申請又は届出書」には、設置認可又は届出の教員全員（兼任・兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**黒豆文字で提出書から裏面となっている箇所は必ず赤字にしてください。**
各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類の手書き」の「教員名簿」を確認してください。
年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
専任（専門性大学等は専、実業、実研）、**実み**、兼任、**兼任の頭に記入してください。**
不要な年齢（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は消去削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 平成30年4月 時津 啓兼任講師（特別活動論：平成31年4月開講）昇格に伴い兼任准教授から兼任教授に変更した
- 平成30年4月 杉山 祐子兼任講師（学校保健）。退職に伴い兼任講師から兼任講師に変更した
- 平成30年4月 要田 圭治兼任講師就任（英語Ⅰ・英語Ⅱ）。当初予定していたPaul Merrett講師が帰国により辞退したため
- 平成30年4月 太田 佳光兼任講師就任（教育社会学）。教職課程認定教員審査により追加した
- 平成30年4月 石田 弓兼任講師就任予定（教育相談：平成31年4月開講）。教職課程認定教員審査により追加した
- 平成30年4月 鬼塚 純玲専任講師 博士号の取得により学位を変更した

【令和元年度】

- 平成31年3月 山西 正記専任教授（キャリアディベロップメントA（教職）、スポーツ運動学Ⅰ、スポーツ運動学Ⅱ、野外活動実習BⅠ、野外活動実習BⅡ 教育実習指導、教育実践演習（中・高）、保健体育科教育法Ⅰ、保健体育科教育法Ⅱ、保健体育科教育法Ⅲ、保健体育科教育法Ⅳ、インターンシップ 人間健康学研究Ⅰ、人間健康学研究Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ）体調不良による退職。
- 平成31年4月 東川 安雄専任教授（野外活動実習BⅠ、野外活動実習BⅡ）を追加した。平成31年1月教員審査済み。
- 平成31年4月 前田 一篤専任講師（キャリアディベロップメントA（教職）、教育実習指導、教育実習、教職実践演習（中・高）、保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ、保健体育科教育法Ⅲ、保健体育科教育法Ⅳ、インターンシップ、人間健康学研究Ⅰ、人間健康学研究Ⅱ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ）就任。
- 平成31年1月教員審査済み。
- 平成31年4月 升本 錦也兼任講師（スポーツ運動学Ⅰ、スポーツ運動学Ⅱ）就任。平成31年1月教員審査済み
- 平成31年4月 時津 啓兼任講師（特別活動論）。退職により兼任講師に変更した
- 平成31年4月 菅原 通雅兼任講師（情報処理）を追加した
- 平成31年4月 山中 志保兼任講師（英語Ⅰ、英語Ⅱ、応用英語）を追加した
- 平成31年4月 Vincent Grisanti兼任講師（英語Ⅱ）を追加した
- 平成31年4月 崔 真英兼任講師（韓国語）を追加した
- 平成31年4月 佐々木 高伸兼任講師（精神医学Ⅰ）を追加した
- 平成31年4月 早川 浩兼任講師（精神医学Ⅱ）を追加した
- 平成31年4月 Daniel Infante兼任講師（英語Ⅰ、英語Ⅱ）を追加した
- 平成31年4月 上田 毅兼任講師（野外活動実習BⅠ、野外活動実習BⅡ）を追加した
- 平成31年4月 堀田 哲一郎兼任講師（特別支援教育の基礎）を追加した
- 平成31年4月 岡本 義裕兼任講師（総合的な学習の時間の指導法）を追加した
- 平成31年4月 中尾 豊喜兼任講師（総合的な学習の時間の指導法）を追加した

【令和2年度】

- 令和2年4月 加地 信幸専任講師（インクルーシブ・スポーツ論：令和2年9月開講、重度障害者身体活動論Ⅰ：令和2年4月開講、重度障害者身体活動論Ⅱ：令和2年9月開講、アダプティッド・スポーツ科学：令和2年4月開講），令和2年1月教員審査済、昇格に伴い専任講師から専任准教授に変更した
- 令和2年4月 和田玲子兼任講師（音楽療法概論）昇格に伴い兼任准教授から兼任教授に変更した
- 令和2年4月 金 炎勇兼任講師（スポーツ史）。崎田 嘉寛兼任講師が辞退したため
- 令和2年4月 横井 由佳兼任講師（人体の構造と機能及び疾病、健康医学）。眞田 敏兼任准教授が辞退したため
- 令和2年4月 横井 由佳兼任講師（救急置置）。眞田 敏兼任准教授と岩本 由美兼任准教授が辞退したため
- 令和2年4月 郷 勲九兼任講師（レクリエーション実習Ⅰ、レクリエーション実習Ⅱ）。金 致偉兼任講師が辞退したため
- 令和2年4月 田代 佳光兼任講師（教育社会学）単独で担当。李 東林兼任講師が帰国により辞退したため
- 令和2年4月 Edward Cooper Howland 兼任講師（英語Ⅰ、英語Ⅱ、応用英語）。山中 志保兼任講師が辞退したため
- 令和2年4月 Caroline Lloyd 兼任講師（英語Ⅱ）。Vincent Grisanti 兼任講師が辞退したため
- 令和2年4月 Trach Russell Lawrence Kemp 兼任講師（英語Ⅰ、英語Ⅱ）。Pauline Baldwin 兼任講師が辞退したため
- 令和2年4月 小澤 郁美兼任講師（教育心理学）を追加した
- 令和2年7月 前田 一篤講師 令和2年7月教員審査済（スポーツ指導実技AⅡ（器械体操））、新谷 士朗兼任講師が辞退したため

【令和3年度】

- 令和3年4月 工藤 隆治教授 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更をした
【名称変更】社会福祉の原理と政策Ⅰ、社会福祉の原理と政策Ⅱ
- 令和3年4月 佐々木 哲二郎教授 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更 担当科目の追加・削除をした 令和2年9月審査済
【名称変更】精神保健福祉の原理Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ、ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）
【追加】精神保健福祉の原理Ⅱ、精神保健福祉演習Ⅲ
【削除】精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ、精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ
- 令和3年4月 村上 須賀子教授 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更をした 令和2年9月審査済
【名称変更】ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）
- 令和3年4月 河野 齋教授 令和2年1月教員審査済、昇格により専任講師から専任准教授に変更した 博士号の取得により学位を変更した
- 令和3年4月 藤原 隆兼准教授 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更をした
【名称変更】医学概論
- 令和3年4月 鶴岡 和幸兼任准教授 「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更及び追加をした。
【名称変更】精神保健福祉演習Ⅲ
【追加】地域福祉 丸山 法子兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 大野呂 浩志兼任准教授（特別支援教育の基礎） 堀田 哲一郎兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 堀井 順平兼任講師（教育相談） 高田 純兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 石田 博嗣兼任講師「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更及び担当科目を削除した
- 令和3年4月 【名称変更】高齢者福祉論 【削除】高齢者福祉論Ⅱ
- 令和3年4月 河村 隆史兼任講師「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更及び担当科目を削除した
- 令和3年4月 【名称変更】精神障害リハビリテーション論、精神保健福祉制度論 【削除】精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ
- 令和3年4月 下西 やす子兼任講師「社会福祉士及び介護福祉士法施行規則」及び「精神保健福祉士法施行規則」の改正に伴い担当科目の名称変更をした
【名称変更】刑事司法と福祉
- 令和3年4月 梶岡 圭寿満子兼任講師（情報処理） 丸井 美保兼任准教授が辞退したため
- 令和3年4月 海塚 敏郎兼任講師（精神医学Ⅰ） 佐々木 高伸兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 横井 由佳兼任講師（スポーツ医学） 小笠原 英敬兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 Aran John Askell兼任講師（英語Ⅱ） Caroline Lloyd兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 大前 泰彦兼任講師（教育相談） 若林（杉岡）紀乃兼任講師が辞退したため
- 令和3年4月 大藤 文夫兼任准講師（社会学、コミュニティソーシャルワーク） 兼任講師に変更 博士号取得により博士（学術）に変更

(注)

- 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

- 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時ににおける設置基準上の必要教授数										
14 名	7 名										
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助 手 (B')
10 (10)	4 (4)	4 (4)	0 0	18 (18)	0 0	9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助 手 (D')
9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]	9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]

(注) 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助 手 (B')
10 (10)	4 (4)	4 (4)	0 0	18 (18)	0 0	9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助 手 (D')
9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]	9 [△1]	6 [2]	4 [0]	0 [0]	19 [1]	1 [1]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり。

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	8 名	8 名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C)}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55\%}$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨てて、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況 (B)}} = \frac{8}{19} = \boxed{42.1\%}$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨てて、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況 (C')}}{\text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{0} = \boxed{\#DIV/0! \%}$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨てて、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由				
		該当なし									
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	
<p>(注) • 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。</p> <p>• 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。</p> <p>就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。</p> <p>• 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。</p> <p>• また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。</p>											
<p>• 専任教員が担当する(している)場合は「①」</p> <p>• 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</p> <p>• 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</p>											

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	教授	山西 正記	H31.3	必修	スポーツ運動学Ⅰ	①	H31.3.31付け 体調不良のため辞任 (31)					
				必修	インターナシップ	①						
				必修	人間健康学研究Ⅰ	①						
				必修	人間健康学研究Ⅱ	①						
				必修	卒業研究Ⅰ	①						
				必修	卒業研究Ⅱ	①						
				選択	キャリアディベロップメントA(教職)	①						
				選択	スポーツ運動学Ⅱ	①						
				選択	野外活動実習BⅠ	①						
				選択	野外活動実習BⅡ	①						
				選択	保健体育科教育法Ⅰ	①						
				選択	保健体育科教育法Ⅱ	①						
				選択	保健体育科教育法Ⅲ	①						
				選択	保健体育科教育法Ⅳ	①						
				自由	教育実習指導	①						
				自由	教育実習	①						
				自由	教職実践演習(中・高)	①						
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
1	人			必修	6	科目	必修	0	科目			
				選択	8	科目	選択	0	科目			
				自由	3	科目	自由	0	科目			
				計	17	科目	計	0	科目			
<p>(注) • 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。</p> <p>• 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。</p> <p>• また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。</p>												
<p>• 専任教員が担当する(している)場合は「①」</p> <p>• 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</p> <p>• 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</p>												

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人	必修	6	科目	必修	0
		選択	8	科目	選択	0
		自由	3	科目	自由	0
		計	17	科目	計	0

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55\%}$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・(3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

体調不良のため退職はやむを得ないと判断し、授業に支障の無いよう後任の教員を配置した。
前期オリエンテーションやガイダンス等において説明したほか、チューターによる個別指導等により周知を徹底した。(31)

(注) 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	<p>運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p> <p>留意事項</p>	<p>人間健康学部は、広島 坂キャンバス（広島県安芸郡）及び呉 郷原キャンバス（呉市）に拠点を置いている。 授業については、同一日にキャンバス間移動が発生しないように時間割を編成し、授業実施のうえで支障がないように配慮している。 学生は、授業及び課外活動のためキャンバス間の移動が必要となるためキャンバス間移動には、シャトルバスを運行している。 平成30年度は、呉 郷原キャンバスでの授業は水曜日だけであり、この日は授業時間に合わせてJR呉線矢野駅からシャトルバスを運行している。 また、課外活動を行っている学生のために、坂キャンバスでの授業終了後、スポーツ施設のある呉 郷原キャンバスへ、課外活動終了後は呉 郷原キャンバスから広島 坂キャンバスまでシャトルバスを運行している。</p>	履行済
	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p> <p>留意事項</p>		<p>本学園の定年規程にしたがえば、教育職員の定年は65歳である。完成年度においては「70歳以上」が6名となり、専任教員18名中8名が65歳以上となる。このような年齢構成の偏重への対応は次の通りである。 第一に、原則として、定年をこえる教員については完成年度を目途に順次退職することとする。ただし、移行処置として8名の65歳以上の教員のうち、70歳、72歳及び73歳の教授3名は理事会の承認を得て、1～3年程度引き続き教育研究指導にあたるものとする。 第二に、定年退職に伴う教員の補充を進めていく。具体的には、完成年度前年より公募へ向けた委員会を組織し、完成年度6月に公募を開始し、9月までに後任者に関する人事を決定する。 その選考基準としては、十分な研究業績を有し、退職教員の専門分野・授業科目を担当することができ、比較的若手であることとする。</p>

設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。（人間健康学部スポーツ健康福祉学科）	改善事項	平成30年度に体調不良のため教授1名が退職したため、AC教員審査を受けた若手講師2名を加えたことにより教員組織の若返りを図りました。その結果専任教員19名のうち定年年齢を超えた教員は8名となりました。（42.1%）	履行中	今後も、将来構想に従い、定年規程の年齢を超える専任教員の後任人事を確実に進めます。完成年度を迎える以前に、やむを得ない事情により教員が退職する場合においても、30～40歳代の若手教員を後任補充人事として優先的に検討を行います。
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間健康学部スポーツ健康福祉学科）	改善事項	完成年度を迎える以前に、やむを得ない事情により教員が退職する場合は、若手教員を後任補充の対象として優先的に検討を行います。	履行中	令和3年度末において、19名中8名が定年を超え、うち、5名は、定年規程における再雇用の年齢制限をも超えることとなるため、これに代えて、規程の趣旨に基づき、30～40歳代若手教員を後任補充人事として優先的に検討を行います。これにより、定年は超えるが、再雇用の制限年齢には達しない教員は、19名中3名となります。（15.8%）
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。（人間健康学部スポーツ健康福祉学科）	改善事項	完成年度を迎える以前に、やむを得ない事情により教員が退職する場合は、若手教員を後任補充の対象として優先的に検討を行います。	履行中	令和3年度末において、19名中8名が定年を超えており、うち4名は、定年規程における再雇用の年齢制限をも超えることとなります。規程の趣旨に基づき、完成年度を迎える令和3年度末で、定年規程における再雇用の年齢制限を超えていた職員4名は退職し、新規に40～50歳代の若手教員を中心に採用する予定です。これにより、19名中4名（21.0%）が定年を超え、うち1名（5.2%）が、定年規程における再雇用の年齢制限をも超えることとなります。

- (注) • 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人間健康学部 スポーツ健康福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関する留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>広島文化学園大学・短期大学 FD 委員会規程に則り、授業内容及びその方法の改善を図り、教育の充実及び質向上をめざすために、平成22年4月に FD 委員会を設置している。</p> <p>また、管理運営業務や教育研究支援業務を協働して円滑に遂行するために、広島文化学園 SD 委員会を設置し、個人の業務改善と能力開発及び組織間の連携を推進する取り組みを行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD 委員会は、委員長及び各学部・学科・研究科教員から選任された委員をもって構成されており、委員長及び委員は、学長がこれを任命する。</p> <p>令和2年度は、広島文化学園 SD 委員会は必要に応じて開催することとし、委員は、法人事務局3名、大学・短期大学の事務職員4名のほか、教員として、大学学部長、短期大学学生部長を含めている。</p> <p>広島文化学園大学 FD 委員会</p> <p>(1) 教員の教育活動改善のための方策に関する事項</p> <p>(2) 講演会・研修会等の企画・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生の授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FD活動に関する情報収集と提供に関する事項</p> <p>(5) アクティブラーニングの企画・実施及び評価に関する事項</p> <p>(6) アクティブラーニングに関する情報収集と提供に関する事項</p> <p>(7) ティーチング・ポートフォリオの作成及び教育支援への活用に関する事項</p> <p>(8) その他、学長の諮問する事項を審議</p> <p>広島文化学園 SD 委員会</p> <p>(1) 教育支援のための各種施策に関する事項</p> <p>(2) 個人の能力開発、資質向上のための研修を含む施策に関する事項</p> <p>(3) 業務改善のための取り組み等に関する事項</p> <p>(4) 部門単位での業務改善目標の設定と分析に関する事項</p> <p>(5) 審議・協議及び決定した内容について、学内で周知徹底するための具体的方策に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 学生による授業評価</p> <p>(2) アクティブラーニング研修会等参加</p> <p>(3) 授業参観（授業公開）</p> <p>(4) 学内アクティブラーニング研修会及びティーチングポートフォリオ作成ワークショップ</p> <p>(5) アクティブラーニング推進報告書発行</p> <p>(6) SD研修会</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) 学生による授業評価</p> <p>各学期終了時に、すべての授業科目について学生による授業評価アンケートを実施した。</p> <p>(2) アクティブラーニング研修会等参加</p> <p>教育ネットワーク中国などが主催する FD 研修会あるいはアクティブラーニング研修会に FD 委員が中心となって参加した。令和2年度はオンラインによる実施であった。</p> <p>(3) 授業参観（授業公開）</p> <p>各学期ごとに、専任教員が授業を公開し、教員間で授業の評価を実施した。</p> <p>(4) 学内学内アクティブラーニング研修会は教職員全員参加とし、新型コロナ感染症のためにオンラインで実施した。また、ティーチングポートフォリオ作成ワークショップは FD 委員会委員及び希望者の参加とし、オンラインで実施した。</p> <p>(5) アクティブラーニング推進報告書発行</p> <p>FD 委員会が編集した授業改善のための「アクティブラーニング推進報告書である。授業紹介、学生参画型 FD活動等を掲載している。</p> <p>(6) SD研修会</p> <p>職員参加による SD 研修会を開催した。</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 学生による授業評価は、非常勤講師を含めたすべての教員の授業について実施した。
- (2) 前期及び後期にそれぞれ少なくとも1度は、他の教員の授業参観を行い報告書を提出した。
- (3) 授業改善を目的とした学内FD研修会及びティーチングポートフォリオ作成ワークショップは年に1度令和3年3月に開催した。
- (4) 令和2年9月、職員を対象としたSD研修会を開催した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 授業参観者に対してアンケートを実施し、授業内容・授業方法に関する意見を各教員にフィードバックし、授業内容・授業方法等の改善を図った。
- (2) アクティブ・ラーニング推進報告書には、本学のアクティブ・ラーニングに関する授業紹介が記載されており、他の教員の参考となった。
- (3) 各教員はティーチングポートフォリオを作製することとしており、これまでの教育等に関して振り返りながら教育改善、授業改善にいかしていく体制を整えることとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期終了時に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- (1) アンケート結果については、各授業担当者に文書で配付した。
- (2) 学内の情報システム（HBGシステム）により公開した。
- (3) 授業評価が著しく低い評価であった場合、学部長より担当教員に対し授業改善計画の提出を求める。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人間健康学部は、建学の精神である「究理実践」に基づき、すべての人間が生涯を通じて健康的で豊かに生きるために方法を研究し、地域社会及び国際社会の健康科学の発展に貢献する人材を育成することを教育上の目標としている。この目標を達成するために、人間健康学部では「対話」による教育実践を通じて個性豊かな人間性を養い、スポーツ、福祉、そして健康に係る専門的知識と技能の教育研究を行い、すべての人々の健康的な生き方についての支援と相談ができる人材及び健康・体力づくりを実践レベルで促進できる人材育成を目的としている。

人間健康学部においては、開設3年を経て、教育課程を設置計画通り実施し、学部の設置の趣旨・目的の実現に努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- 令和3年6月 公表予定

b 公表方法

- 自己点検・評価報告書を刊行し、関係者に配布する。
- 大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- 本年度、評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 無]

« a で「有」の場合 »

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他（ ）]

« a で公表「無」の場合 »

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

広島文化学園大学・短期大学F D委員会規程

(目的)

第1条 広島文化学園大学（以下「大学」という。）学則第3条及び広島文化学園短期大学（以下「短大」という。）学則第3条の規定に基づき、授業内容及びその方法の改善を図り、アクティブ・ラーニングを推進し、教育の充実及び質向上を目指すために、大学・短大FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員長及び各学部・学科・研究科教員並びに事務職員から選任された委員をもって構成する。

- 2 前項の委員長及び委員は、大学及び短大の学長がこれを任命する。
- 3 各学部・短大に、当該学部・学科及び研究科の委員からなる学部・短大FD委員会を設ける。
- 4 各学部・短大FD委員会に、それぞれ委員長を置く。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員が生じた場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営)

第4条 委員会は、委員長が招集・開会し、議長となる。

- 2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員・学生代表者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

(所掌)

第5条 委員会は、大学及び短大のFD活動及びアクティブ・ラーニングの推進が持続的に実行されるよう、次の各号に掲げる事項を取り扱うものとする。

- (1) 教員の教育活動改善の方策に関する事項
- (2) 講演会・研修会等の企画・実施に関する事項
- (3) 学生の授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FD活動に関する情報収集と提供に関する事項
- (5) アクティブ・ラーニングの企画・実施及び評価に関する事項
- (6) アクティブ・ラーニングに関する情報収集と提供に関する事項
- (7) ティーチング・ポートフォリオの作成及び教育支援への活用に関する事項
- (8) その他、学長の諮問する事項

(報告)

第6条 委員長は、委員会の議事及び結果を教学支援センター会議に諮ったのち、教授会に報告しなければならない。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成30年9月1日から施行する。なお、広島文化学園大学FD委員会規程、広島文化学園短期大学FD委員会規程及び広島文化学園大学・短期大学アクティブ・ラーニング推進委員会規程は廃止する。（組織改編に伴う改正。）
- 2 この規程は、令和2年4月1日から施行する。（第5条第1項に7号を追加したことに伴う改正）

広島文化学園 SD 委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校法人広島文化学園に勤務する職員の資質の向上を図ることを目的として設置される「広島文化学園スタッフ・デベロップメント委員会（以下「SD 委員会」という。）」の運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 本学園における SD とは、広島文化学園大学及び広島文化学園短期大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、本学園に勤務する職員を対象として、職員に必要な知識及び技能の習得、職員の能力及び資質の向上、業務改善並びに組織間の連携を推進する取組をいう。

(構成)

第3条 SD 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 法人事務局長、局長補佐、総務課長
- (2) 大学・短期大学事務局長、局長補佐、局次長
- (3) 各キャンパス事務部長、呉 阿賀キャンパス総務課長
- (4) 大学校部長
- (5) 短期大学学生部長
- (6) その他、委員長が指名する者

2 SD 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、法人事務局長をもって充て、副委員長は、法人事務局長補佐をもって充てる。

(責務)

第4条 委員長は、SD 委員会の会議（以下「会議」という。）の議長となる。

2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第5条 会議は、委員長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議において、議決を要するときは、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(キャンパス SD 推進委員会)

第6条 各キャンパスが有する個別事象に対応するとともに、SD 委員会の決定事項に従い、各キャンパスの SD 活動を円滑に推進するため「キャンパス SD 推進委員会」を置く。なお、呉郷原キャンパスは、広島 坂キャンパスに含むものとする。

2 キャンパス SD 推進委員会委員は、各キャンパスの事務部長、総務課長、学生部長、学生部次長及び学部長で構成する。

3 キャンパス SD 推進委員会委員長は事務部長をもって充て、副委員長は総務課長をもって充てる。

4 キャンパス SD 推進委員会の事務局は、各キャンパス事務部が担当し、各キャンパス SD 推進委員会の総括は、吳 阿賀キャンパス事務部が行う。

(所掌事務)

第7条 SD 委員会は、SD 活動が継続して行われるために、次の各号の事項について審議・協議するとともに、推進のための具体的方策等を決定する。

- (1) 教育支援のための各種施策に関する事項
- (2) 個人の能力開発、資質向上のための研修を含む施策に関する事項
- (3) 業務改善のための取り組み等に関する事項
- (4) 部門単位での業務改善目標の設定と分析に関する事項
- (5) 審議・協議及び決定した内容について、学内で周知徹底するための具体的方策に関する事項

2 前項に規定する所掌事務の推進は、次の分担で行うものとする。

- (1) 学園全体に関わるもの 法人事務局
- (2) 大学・短期大学に関わるもの 吳 阿賀キャンパス事務部
- (3) 全学センターに関わるもの 大学・短期大学事務局
- (4) 各キャンパスに関わるもの 各キャンパス事務部

(委員以外の者の出席)

第8条 議長は、特に必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第9条 SD 委員会の事務局は、法人事務局が担当し、吳 阿賀キャンパス事務部が補佐するものとする。

2 SD 委員会は、会議の議事について議長が指名する者に議事録を作成させるものとする。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 23 年 9 月 23 日から施行する。
- 2 この規程は、平成 24 年 10 月 1 日から施行する。
- 3 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。 (SD 対象者の見直し。)
- 5 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。 (委員会構成員の見直し。)
- 6 この規程は、令和 2 年 7 月 1 日から施行する。 (委員会構成員、組織等の変更)